

令和3年度
香 川 県
歯の健康と医療費に関する実態調査
報告書

令和4年3月

香川県
公益社団法人 香川県歯科医師会

共同研究 監修：香川大学名誉教授 真鍋芳樹
協力 香川県国民健康保険団体連合会
香川県後期高齢者医療広域連合

目 次

I	平成31・令和元年度歯科受診者の8020達成状況別診療日数、診療費、調剤費、 介護サービス受給状況、及び生活習慣病有病率について	1
一	調査の概要	1
1	分析対象者および分析方法	1
二	調査・分析結果	2
(1)	8020達成状況	2
(2)	医科・歯科診療日数、診療費、及び調剤費（一人あたり1年間、日・円）の状況	3
(3)	介護サービス受給状況	6
(4)	生活習慣病の有病状況	8
	まとめ・考察	12
II	平成31・令和元年度特定健診受診者の食事をかんで食べる時の状態、喫煙、 食生活習慣質問項目の回答状況別、診療日数、医療費の状況について	15
一	調査の概要	15
1	分析対象者および分析方法	15
二	調査・分析結果	16
(1)	質問13「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか」と 診療日数・医療費	16
(2)	質問8「現在、たばこを習慣的に吸っている」と診療日数・医療費	19
(3)	質問14「人と比較して食べる速度が速い」と診療日数・医療費	22
(4)	質問15「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある」と 診療日数・医療費	25
(5)	質問16「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか」の 回答状況別診療日数・医療費の状況	28
(6)	質問17「朝食を抜くことが週に3回以上ある」の回答状況別、 診療日数・医療費の状況	31
(7)	質問18「お酒（日本酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度」の回答状況別、 診療日数・医療費の状況	34
(8)	質問19「飲酒日の1日当たりの飲酒量」の回答状況別、診療日数・医療費の状況	37
	まとめ・考察	40
III	平成31・令和元年度特定健診受診者の歯科質問項目「デンタルフロスや 歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」回答状況別医療費、 及び他の歯科質問項目との関連	43
一	調査の概要	43
1	分析対象者および分析方法	43
二	調査・分析結果	44
(1)	性別年齢階級別「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間も きれいにしている」回答状況別、1年間当たりの診療日数、診療費、調剤費	44
(2)	性別年齢階級別「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間も きれいにしている」回答状況別、「あなたの歯は20本以上ありますか」回答状況	47
(3)	性別年齢階級別「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間も きれいにしている」回答状況別、「歯みがきの時に歯ぐきから血が でることがある」回答状況	49

(4) 性別年齢階級別「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間も きれいにしている」回答状況別、「歯ぐきが腫れることがある」回答状況	51
(5) 性別年齢階級別「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間も きれいにしている」回答状況別、「歯がぐらぐらする」回答状況	53
まとめ・考察	55

I 平成 31・令和元年度歯科受診者の 8020 達成状況別診療日数、診療費、調剤費、介護サービス受給状況、及び生活習慣病有病率について

一 調査の概要

1 分析対象者および分析方法

平成 31・令和元年度の KDB 突合データを入手し、分析に供した。なお、個人番号等は完全に暗号化され、個人の遡及は不可能な状態で分析を行った。

対象者の抽出に関しては、現在歯数を把握するため、歯周病疾患で歯科を受診した人を対象とした。具体的には、下表に示す歯科診療行為名称・請求コードの「請求コード」に一つでも一致するものを抽出することで、現在歯数を 3 階級に分類して分析した。さらに KDB 被保険者台帳と突合し、平成 31・令和元年に 80 歳になる者を抽出することで、8020 達成者と非達成者を分類した。

歯 科 診 療 行 為 名 称		請求コード
歯周基本検査	1 歯以上 10 歯未満	304000410
	10 歯以上 20 歯未満	304000510
	20 歯以上	304000610
歯周精密検査	1 歯以上 10 歯未満	304000710
	10 歯以上 20 歯未満	304000810
	20 歯以上	304000910
歯周病安定期治療 I	1 歯以上 10 歯未満	301914710
	10 歯以上 20 歯未満	309014810
	20 歯以上	309005710
歯周病安定期治療 II	1 歯以上 10 歯未満	309016210
	10 歯以上 20 歯未満	309016310
	20 歯以上	309016410

診療日数・診療費・調剤費は医療レセプト管理および医療レセプト管理_歯科ファイル、要介護度は介護給付実績ファイル、生活習慣病の有病状況は医療傷病名ファイルを用い、対象者と突合して集計した。

なお、有病状況は医療傷病名ファイルで「疑い区分」該当を除外して集計した。

二 調査・分析結果

(1) 8020 達成状況

男性の 8020 達成率は 59.0%、非達成群の内 1～9 歯群は 16.2%、10～19 歯群は 24.8% だった。女性の 8020 達成率は 55.6%、非達成群の内 1～9 歯群は 13.9%、10～19 歯群は 30.5%と、男女とも比率的に同じような傾向が見られた。

性別	分 類	人 数	%
男性	1～9歯	270	16.2%
	10～19歯	413	24.8%
	20歯以上	981	59.0%
	(再掲)		
	8020非達成	683	41.0%
	8020達成	981	59.0%
女性	1～9歯	308	13.9%
	10～19歯	677	30.5%
	20歯以上	1,232	55.6%
	(再掲)		
	8020非達成	985	44.4%
	8020達成	1,232	55.6%

(2) 医科・歯科診療日数、診療費、及び調剤費(一人あたり1年間、日・円)の状況

男性の 8020 達成群は、8020 非達成群より医科診療日数は少ない傾向が見られた。非達成群のうち 10～19 歯群と 1～9 歯群において医科診療日数にあまり差は見られなかった。

女性の 8020 達成群と 8020 非達成群において医科診療日数にあまり差は見られなかった。非達成群のうち 10～19 歯群は 1～9 歯群より医科診療日数は少ない傾向が見られた。

男女とも 8020 達成群は 8020 非達成群より歯科診療日数は少ない傾向が見られた。非達成群のうち 10～19 歯群は 1～9 歯群より歯科診療日数は多い傾向が見られた。

男性の 8020 達成群は 8020 非達成群より医科診療費は少ない傾向が見られた。非達成群のうち 10～19 歯群と 1～9 歯群において医科診療費にあまり差は見られなかった。

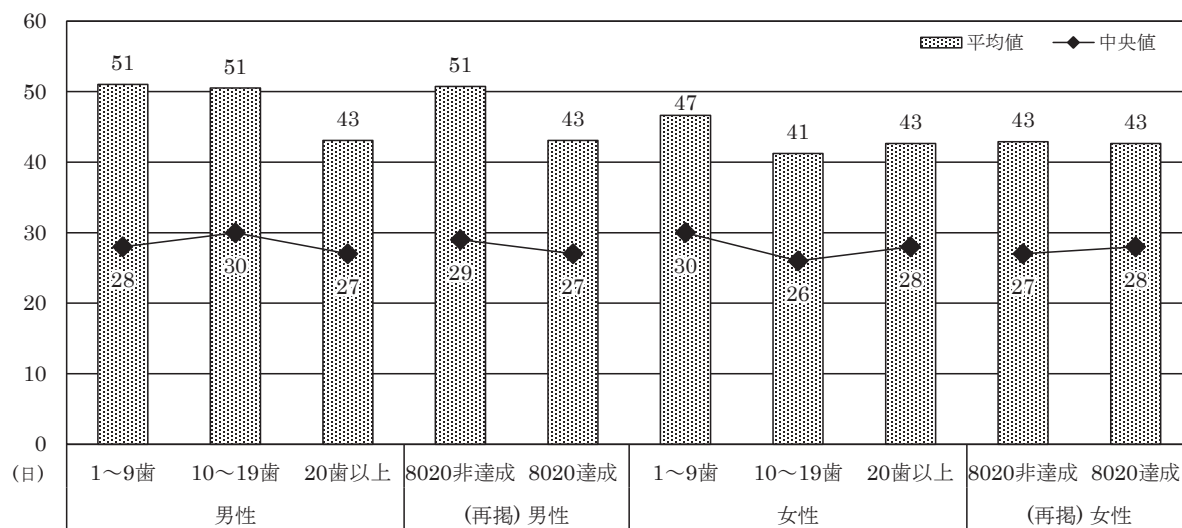
女性の 8020 達成群は 8020 非達成群より医科診療費は少ない傾向が見られた。非達成群のうち 10～19 歯群は 1～9 歯群より医科診療費は少ない傾向が見られた。

男女とも 8020 達成群は 8020 非達成群より歯科診療費は少ない傾向が見られた。非達成群のうち 10～19 歯群は 1～9 歯群より歯科診療費は多い傾向が見られた。

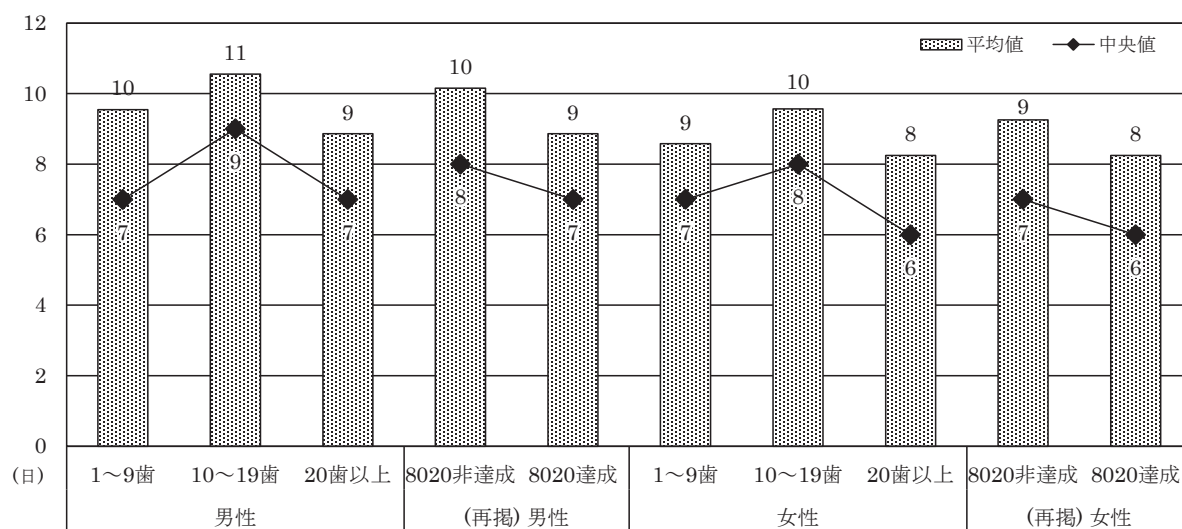
男女とも 8020 達成群と 8020 非達成群間で調剤費に差は見られなかった。

性別	分 類	人 数	医科診療日数		歯科診療日数		医科診療費		歯科診療費		調剤費	
			平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
男性	1～9歯	270	51.0	28.0	9.5	7.0	906,400	299,400	72,800	51,300	188,000	144,800
	10～19歯	413	50.5	30.0	10.6	9.0	884,100	284,500	88,400	69,900	195,300	137,200
	20歯以上	981	43.1	27.0	8.9	7.0	688,900	245,200	72,100	50,600	187,600	138,100
	(再掲)											
	8020非達成	683	50.7	29.0	10.2	8.0	892,900	292,500	82,200	62,800	192,400	140,000
	8020達成	981	43.1	27.0	8.9	7.0	688,900	245,200	72,100	50,600	187,600	138,100
女性	1～9歯	308	46.6	30.0	8.6	7.0	731,500	240,900	69,100	51,400	167,200	124,000
	10～19歯	677	41.2	26.0	9.6	8.0	595,800	216,800	78,900	62,800	186,200	124,300
	20歯以上	1,232	42.6	28.0	8.3	6.0	552,800	222,100	67,100	50,500	175,100	122,700
	(再掲)											
	8020非達成	985	42.9	27.0	9.3	7.0	638,100	224,500	75,800	57,700	180,300	124,000
	8020達成	1,232	42.6	28.0	8.3	6.0	552,800	222,100	67,100	50,500	175,100	122,700

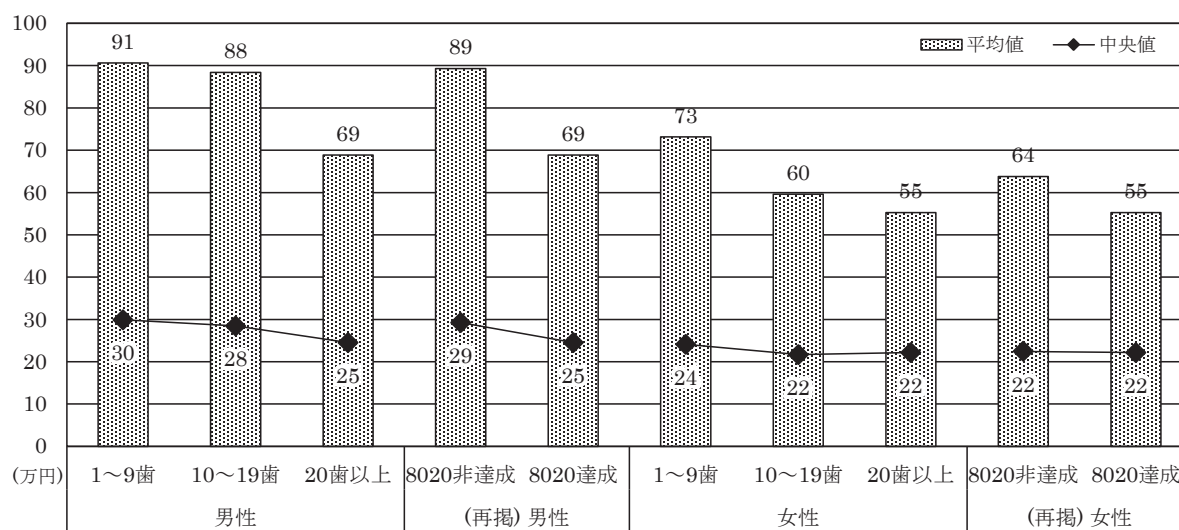
医科診療日数



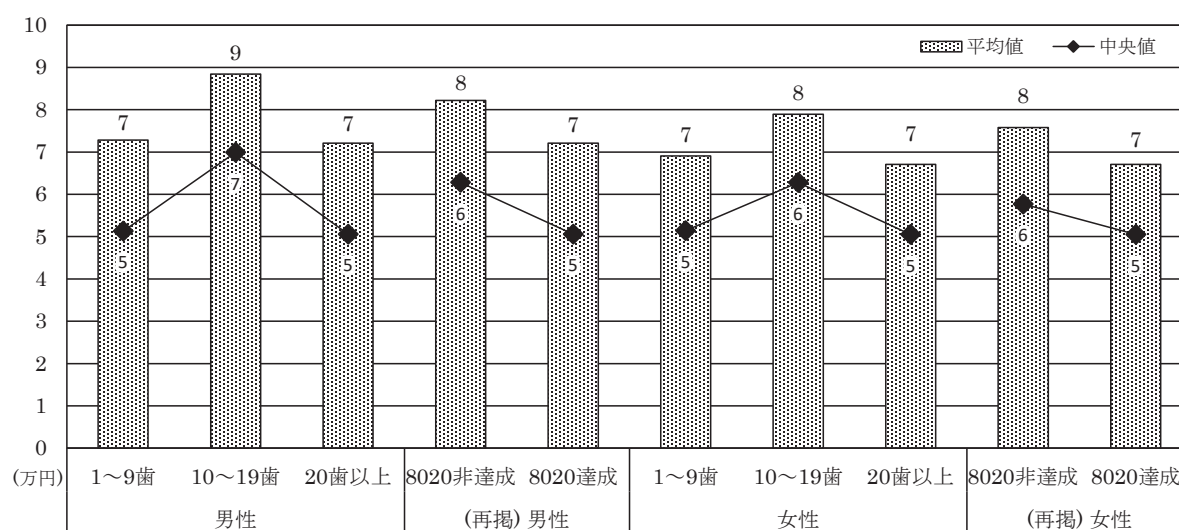
歯科診療日数



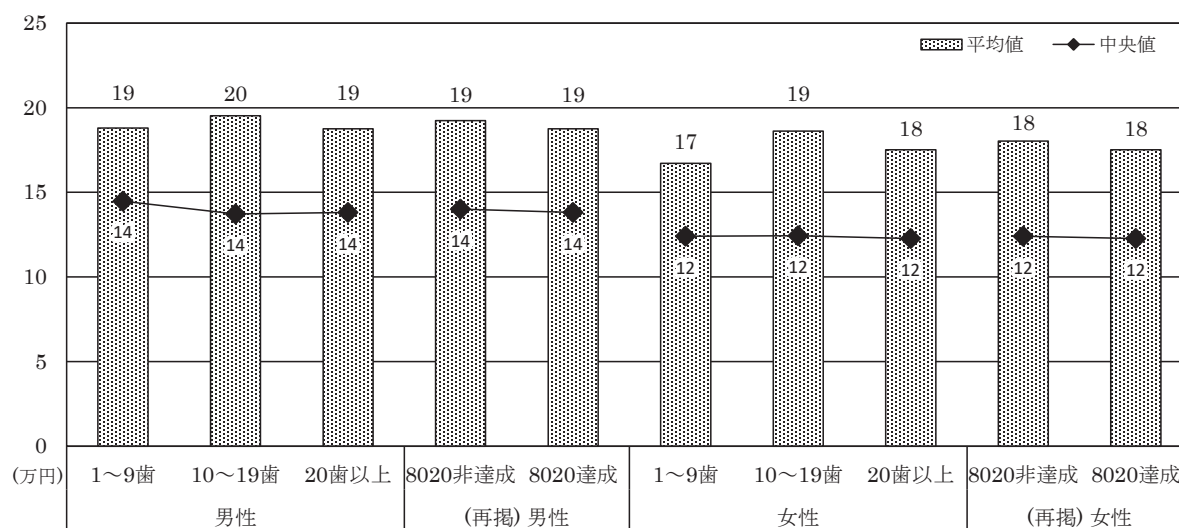
医科診療費



歯科診療費



調剤費



(3) 介護サービス受給状況

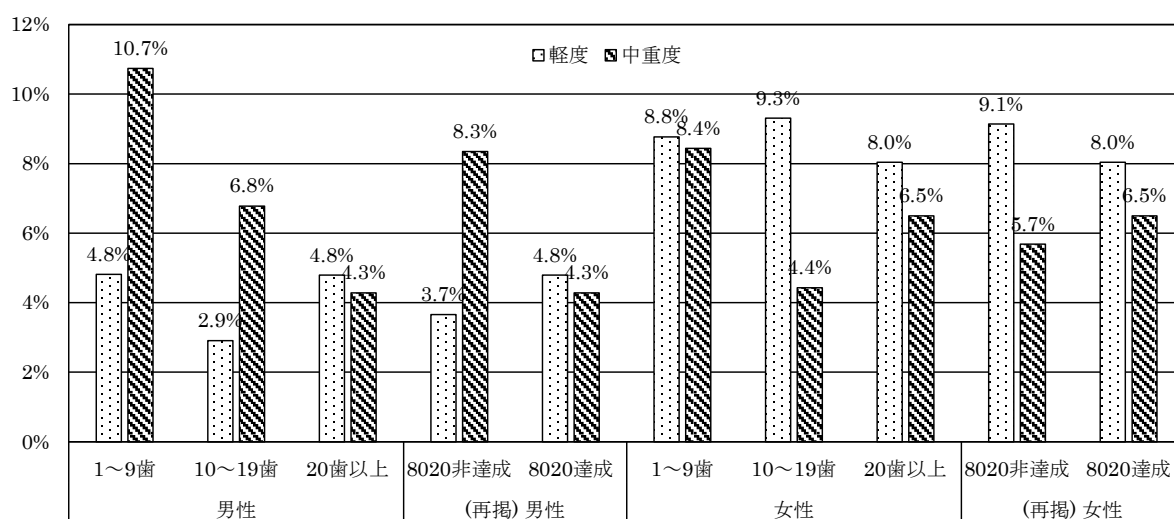
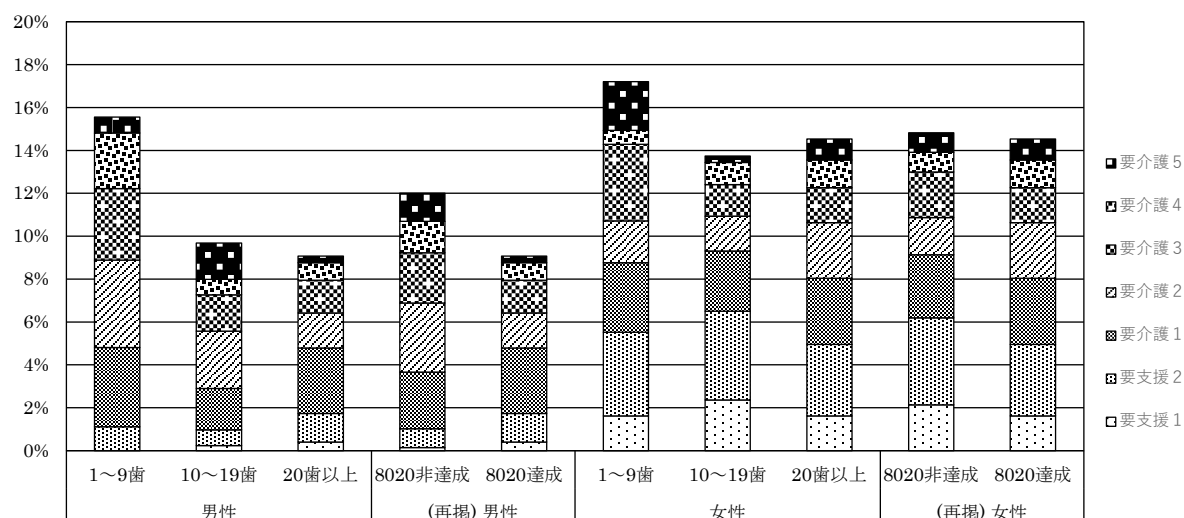
男性の 8020 達成群は 8020 非達成群より介護サービス受給率が低かった。女性の 8020 達成者群は非達成群と明らかな差はないものの、男性と同様 1～9 歯群で介護サービス受給率が最も高かった。

男性の 8020 達成群は中重度受給率の割合が軽度受給率の割合に比べ低い傾向が見られ、8020 非達成群は中重度受給率の割合が軽度受給率の割合に比べ高い傾向が見られた。非達成群のうち 10～19 歯群と 1～9 歯群でともに中重度受給率の割合が軽度受給率の割合に比べ高い傾向が見られた。

女性の 8020 達成群と 8020 非達成群でともに中重度受給率の割合が軽度受給率の割合に比べ低い傾向が見られた。非達成群のうち 10～19 歯群と 1～9 歯群でともに中重度受給率の割合が軽度受給率の割合に比べ低い傾向が見られた。

性別	分 類	人 数	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男性	1～9歯	270	228	0	3	10	11	9	7	2
	10～19歯	413	373	1	3	8	11	7	3	7
	20歯以上	981	892	4	13	30	16	15	8	3
	(再掲)									
	8020非達成	683	601	1	6	18	22	16	10	9
	8020達成	981	892	4	13	30	16	15	8	3
女性	1～9歯	308	255	5	12	10	6	11	2	7
	10～19歯	677	584	16	28	19	11	10	7	2
	20歯以上	1,232	1,053	20	41	38	32	20	16	12
	(再掲)									
	8020非達成	985	839	21	40	29	17	21	9	9
	8020達成	1,232	1,053	20	41	38	32	20	16	12

性別	分 類	人 数	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男性	1～9歯	270	84.4%	0.0%	1.1%	3.7%	4.1%	3.3%	2.6%	0.7%
	10～19歯	413	90.3%	0.2%	0.7%	1.9%	2.7%	1.7%	0.7%	1.7%
	20歯以上	981	90.9%	0.4%	1.3%	3.1%	1.6%	1.5%	0.8%	0.3%
	(再掲)									
	8020非達成	683	88.0%	0.1%	0.9%	2.6%	3.2%	2.3%	1.5%	1.3%
	8020達成	981	90.9%	0.4%	1.3%	3.1%	1.6%	1.5%	0.8%	0.3%
女性	1～9歯	308	82.8%	1.6%	3.9%	3.2%	1.9%	3.6%	0.6%	2.3%
	10～19歯	677	86.3%	2.4%	4.1%	2.8%	1.6%	1.5%	1.0%	0.3%
	20歯以上	1,232	85.5%	1.6%	3.3%	3.1%	2.6%	1.6%	1.3%	1.0%
	(再掲)									
	8020非達成	985	85.2%	2.1%	4.1%	2.9%	1.7%	2.1%	0.9%	0.9%
	8020達成	1,232	85.5%	1.6%	3.3%	3.1%	2.6%	1.6%	1.3%	1.0%



軽度：要支援1、要支援2、要介護1

中重度：要介護2、要介護3、要介護4、要介護5

(4) 生活習慣病の有病状況

【悪性新生物有病率】

男女とも 8020 達成群と 8020 非達成群の悪性新生物有病率にあまり差が見られなかった。男性の非達成群で 10～19 歯群は 1～9 歯群より悪性新生物有病率は高い傾向が見られた。女性の非達成群で 10～19 歯群と 1～9 歯群に悪性新生物有病率に差はあまり見られなかった。

【虚血性心疾患有病率】

男性の 8020 達成群は 8020 非達成群より虚血性心疾患有病率に高い傾向が見られた。非達成群で 10～19 歯群は 1～9 歯群より虚血性心疾患有病率に低い傾向が見られた。女性の 8020 達成群と 8020 非達成群の虚血性心疾患有病率にあまり差が見られなかった。非達成群でも 10～19 歯群と 1～9 歯群に虚血性心疾患有病率にあまり差は見られなかった。

【脳血管疾患有病率】

男性の 8020 達成群は 8020 非達成群より脳血管疾患有病率に高い傾向が見られた。非達成群で 10～19 歯群は 1～9 歯群より脳血管疾患有病率に低い傾向が見られた。女性の 8020 達成群と 8020 非達成群の脳血管疾患有病率にあまり差が見られなかった。非達成群でも 10～19 歯群と 1～9 歯群に脳血管疾患有病率にあまり差は見られなかった。

【糖尿病有病率】

男性の 8020 達成群は 8020 非達成群より糖尿病有病率に低い傾向が見られた。非達成群で 10～19 歯群と 1～9 歯群に糖尿病有病率にあまり差は見られなかった。女性の 8020 達成群と 8020 非達成群の糖尿病有病率にあまり差が見られなかった。非達成群で 10～19 歯群は 1～9 歯群より糖尿病有病率に低い傾向が見られた。

【高血圧症有病率】

男性の 8020 達成群は 8020 非達成群より高血圧症有病率に低い傾向が見られた。非達成群で 10～19 歯群と 1～9 歯群に高血圧症有病率にあまり差は見られなかった。女性の 8020 達成群は 8020 非達成群より高血圧症有病率に低い傾向が見られた。非達成群でも 10～19 歯群は 1～9 歯群より高血圧症有病率に低い傾向が見られた。

【動脈硬化症有病率】

男女とも 8020 達成群は 8020 非達成群より動脈硬化症有病率に低い傾向が見られた。非達成群で 10～19 歯群は 1～9 歯群より動脈硬化症有病率に高い傾向が見られた。

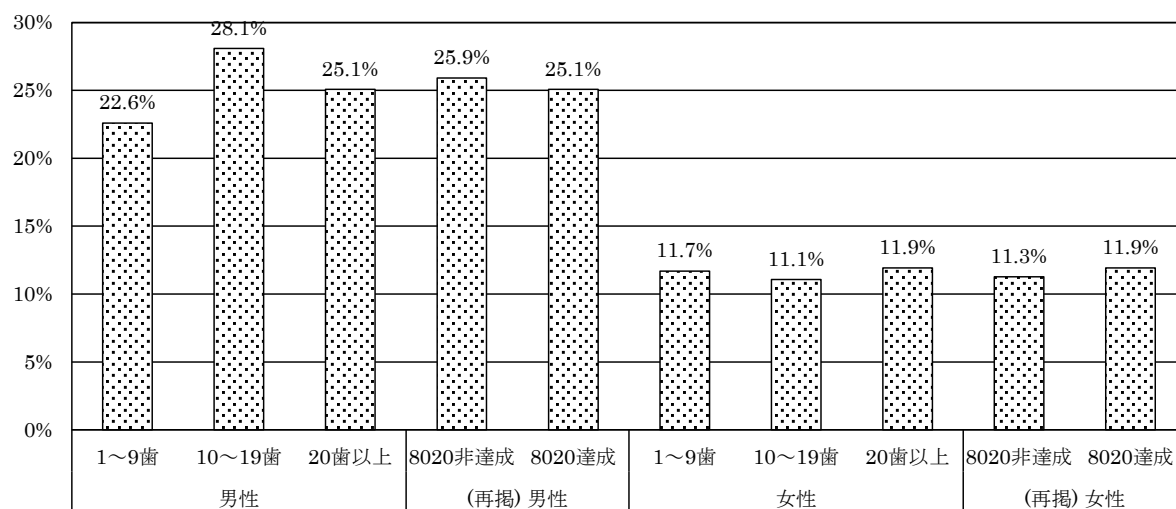
【生活習慣病有病率】

男女とも 8020 達成群は 8020 非達成群より生活習慣病有病率が低い傾向が見られた。非達成群で 10～19 歯群は 1～9 歯群より生活習慣病有病率に高い傾向が見られた。

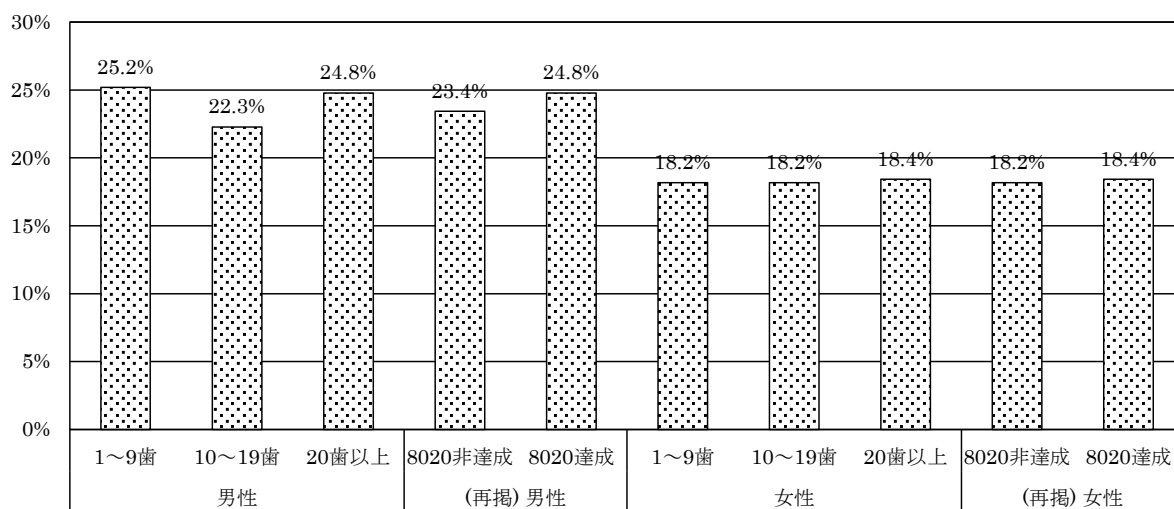
性別	分 類	人数	有病人數						
			惡性新生物	虛血性心疾患	腦血管疾患	糖尿病	高血壓症	動脈硬化症	生活習慣病
男性	1～9齒	270	61	68	79	130	195	42	226
	10～19齒	413	116	92	121	196	282	81	362
	20齒以上	981	246	243	238	423	673	128	831
	(再掲)								
	8020非達成	683	177	160	200	326	477	123	588
	8020達成	981	246	243	238	423	673	128	831
女性	1～9齒	308	36	56	81	117	211	40	253
	10～19齒	677	75	123	148	221	493	104	567
	20齒以上	1,232	147	227	280	401	838	150	1008
	(再掲)								
	8020非達成	985	111	179	229	338	704	144	820
	8020達成	1,232	147	227	280	401	838	150	1008

性別	分 類	人数	有病率						
			惡性新生物	虛血性心疾患	腦血管疾患	糖尿病	高血壓症	動脈硬化症	生活習慣病
男性	1～9齒	270	22.6%	25.2%	29.3%	48.1%	72.2%	15.6%	83.7%
	10～19齒	413	28.1%	22.3%	29.3%	47.5%	68.3%	19.6%	87.7%
	20齒以上	981	25.1%	24.8%	24.3%	43.1%	68.6%	13.0%	84.7%
	(再掲)								
	8020非達成	683	25.9%	23.4%	29.3%	47.7%	69.8%	18.0%	86.1%
	8020達成	981	25.1%	24.8%	24.3%	43.1%	68.6%	13.0%	84.7%
女性	1～9齒	308	11.7%	18.2%	26.3%	38.0%	68.5%	13.0%	82.1%
	10～19齒	677	11.1%	18.2%	21.9%	32.6%	72.8%	15.4%	83.8%
	20齒以上	1,232	11.9%	18.4%	22.7%	32.5%	68.0%	12.2%	81.8%
	(再掲)								
	8020非達成	985	11.3%	18.2%	23.2%	34.3%	71.5%	14.6%	83.2%
	8020達成	1,232	11.9%	18.4%	22.7%	32.5%	68.0%	12.2%	81.8%

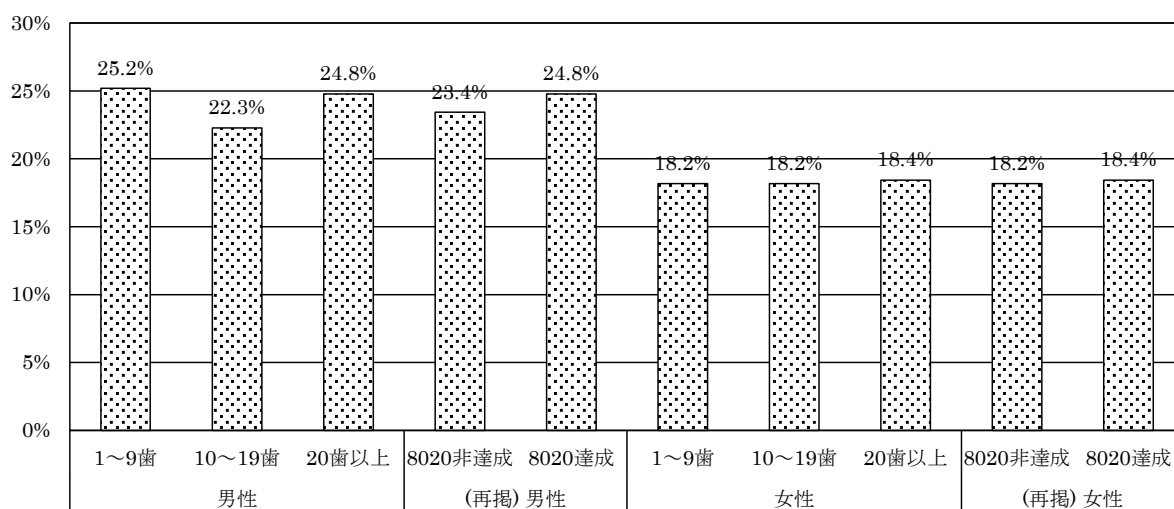
惡性新生物有病



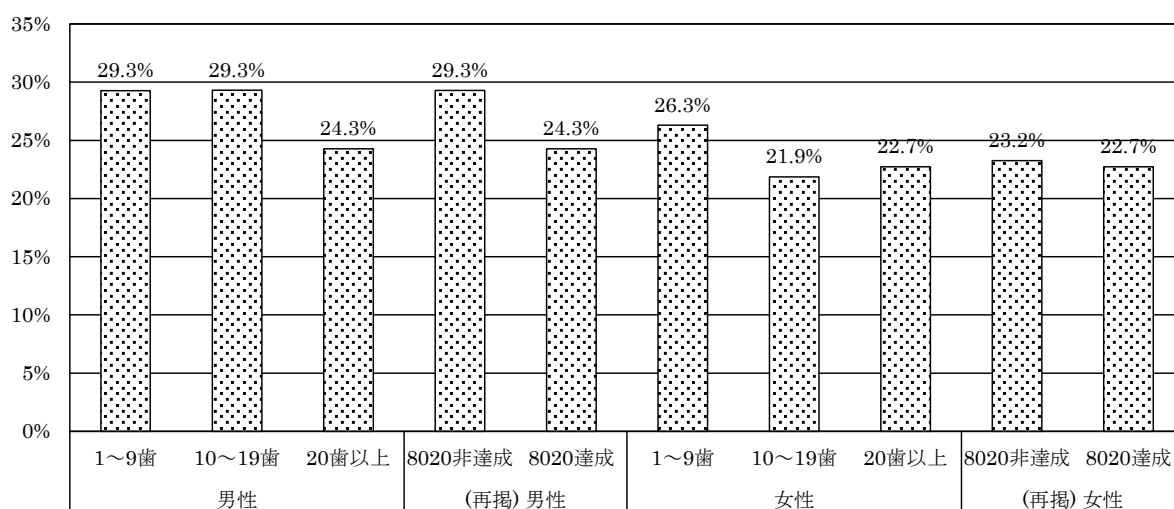
虚血性心疾患有病率



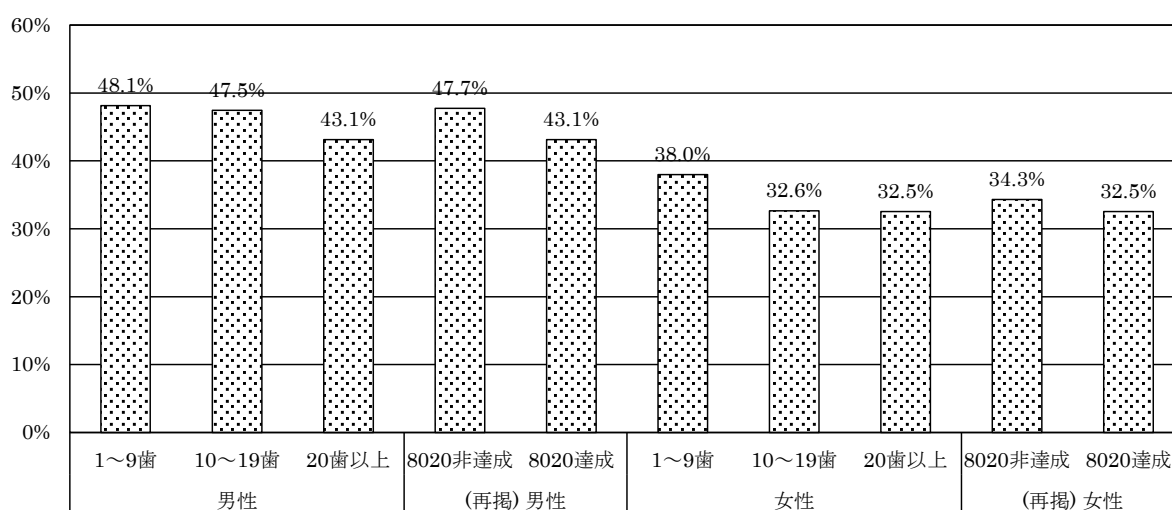
脳血管疾患有病率



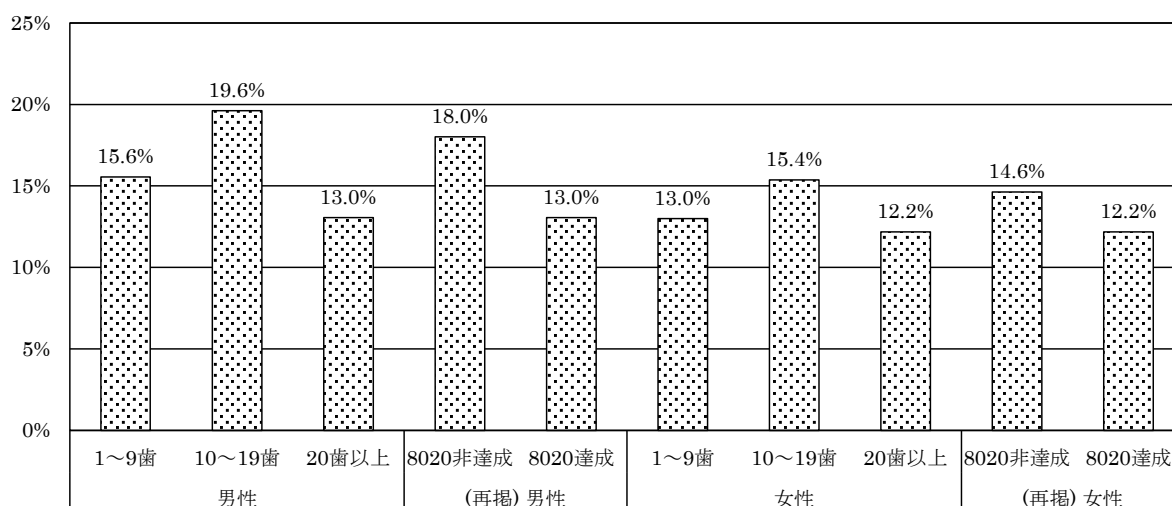
糖尿病有病率



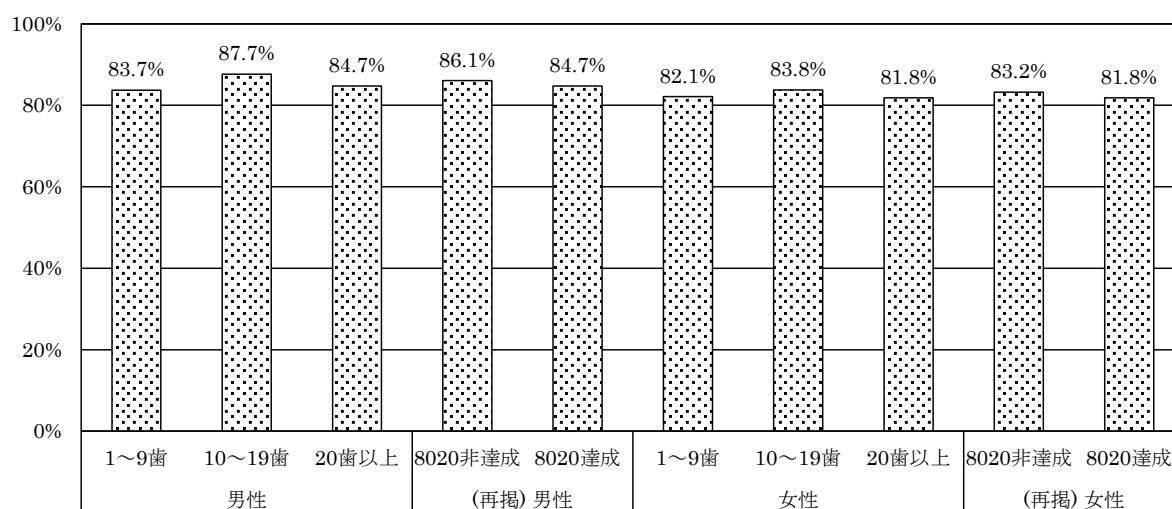
高血压症有病率



動脈硬化症有病率



生活習慣病有病率



まとめ・考察

平成 31・令和元年に 80 歳で歯周病治療歴がある者を対象に、歯周組織検査および、歯周病安定期治療の「請求コード」を用いて 8020 達成者群・8020 非達成者群に分類、また非達成者群を 1～9 歯群、10～19 歯群に分類して分析を行った。

(1) 分析対象者および分析方法

これまでの分析では、現在歯数を把握する手段として平成 26 年度まで実施した歯科疾患実態調査データや香川県独自の特定健診歯科質問項目(あなたの歯の本数は 20 本以上ありますか)を利用していた。前者では歯科医療機関の協力が不可欠で、継続した調査には労力的に限界があった。また後者では健診受診者の申告による曖昧さの中で現在歯数が 20 本以上あるかどうかの把握しかできなかった。今回は現在歯数の分類に、KDB 内の歯科レセプト情報から歯周基本治療と歯周病安定期治療の歯数別請求コードを利用した。歯周病治療で歯科診療を受けた人を対象とするため、無歯顎の患者や歯周疾患に罹患していない患者、歯科未受診の人は対象外になるが、医療費との関係についてこれまでの報告と同じ傾向を示しており、現在歯数を把握する手段としては有用と思われる。

(2) 8020 達成状況

8020 達成率は、男性 59%、女性 55.6%で、昨年度の分析結果(平成 24～26 年度対象で 41%)よりも、大幅に伸びていた。平成 28 年の全国調査(約 50%)よりも高く、近年高齢者の現在歯数の増加傾向が持続していることがうかがえる。

(3) 診療日数、及び医療費の状況

診療日数・医療費については、概ね昨年度の分析結果と同じで、8020 達成者よりも非達成者の方が医科診療日数が多く、医科診療費が高くなる傾向が見られた。男性の方が女性に比べその傾向が顕著で、調剤費について明確な差が見られなかったのも、昨年度の分析結果と同じ傾向だった。現在歯数別にみると、医科診療費は現在歯数が少ない程高くなる傾向を示した。これまでの分析結果と同様、現在歯数を指標とした口腔の状態と全身の健康には何らかの関係があり、8020 運動をはじめとする口腔保健活動は全身の健康に繋がる可能性が示唆された。

(4) 介護サービス受給状況

介護サービス受給状況は、男女とも 1～9 歯群での受給率が高い傾向が見られた。特に男性では、要介護 2～5 の中重度の介護受給率は、現在歯数が少ない程高くなっていた。要支援 1～要介護1までの軽度の介護受給率は、現在歯数とあまり関連がなかったことから、介護の重症化には現在歯数が影響している可能性が示唆された。

(5) 生活習慣病の有病状況

80 歳の生活習慣病有病率は 8 割以上で、男女とも 8020 非達成者の方が有病率が高い傾向が見られた。

疾患別では糖尿病・高血圧症・動脈硬化症の有病率は 8020 非達成者の方が有病率が高い傾向が見られた。一方、虚血性心疾患・脳血管疾患では逆に 8020 達成者の方が有病率が高い傾向が見られた。罹患率の高い糖尿病や高血圧症に比べて罹患率の低い虚血性心疾患や脳血管疾患では、有病者数がさらに少なくなることが影響している可能性があるが、明確な理由は分からなかった。

Ⅱ 平成 31・令和元年度特定健診受診者の食事をかんで食べる時の状態、喫煙、食生活習慣質問項目の回答状況別、診療日数、医療費の状況について

一 調査の概要

1 分析対象者および分析方法

平成 30 年度から特定健診の問診票の質問項目が見直され、新たに口腔に関する項目「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか」が追加された。平成 31・令和元年度特定健診の問診票の質問項目のうち、以下に示す質問項目の医科・歯科診療日数、診療費、及び調剤費を集計した。

13	食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか	<input type="checkbox"/> 何でもかんで食べることができる <input type="checkbox"/> 歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある <input type="checkbox"/> ほとんどかめない
8	現在、たばこを習慣的に吸っている (※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計100本以上、又は6ヶ月以上吸っている者」であり、最近1ヶ月間も吸っている者)	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
14	人と比較して食べる速度が速い	<input type="checkbox"/> 速い <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 遅い
15	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
16	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか	<input type="checkbox"/> 毎日 <input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> ほとんど摂取しない
17	朝食を抜くことが週に3回以上ある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
18	お酒（日本酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度	<input type="checkbox"/> 毎日 <input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> ほとんど飲まない（飲めない）
19	飲酒日の1日当たりの飲酒量 日本酒1合（180ml）の目安：ビール500ml、焼酎25度（110ml）、ウイスキーダブル1杯（60ml）、ワイン2杯（240ml）	<input type="checkbox"/> 1合未満 <input type="checkbox"/> 1～2合未満 <input type="checkbox"/> 2～3合未満 <input type="checkbox"/> 3合以上

分析対象者は KDB の健診結果ファイルを用い、診療日数・診療費、及び調剤費は医療レセプト管理および医療レセプト管理_歯科ファイルと突合して集計した。

二 調査・分析結果

(1) 質問 13「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか」と診療日数・医療費

年齢階級が高くなるにつれて、概ね診療日数と医療費は高くなる。

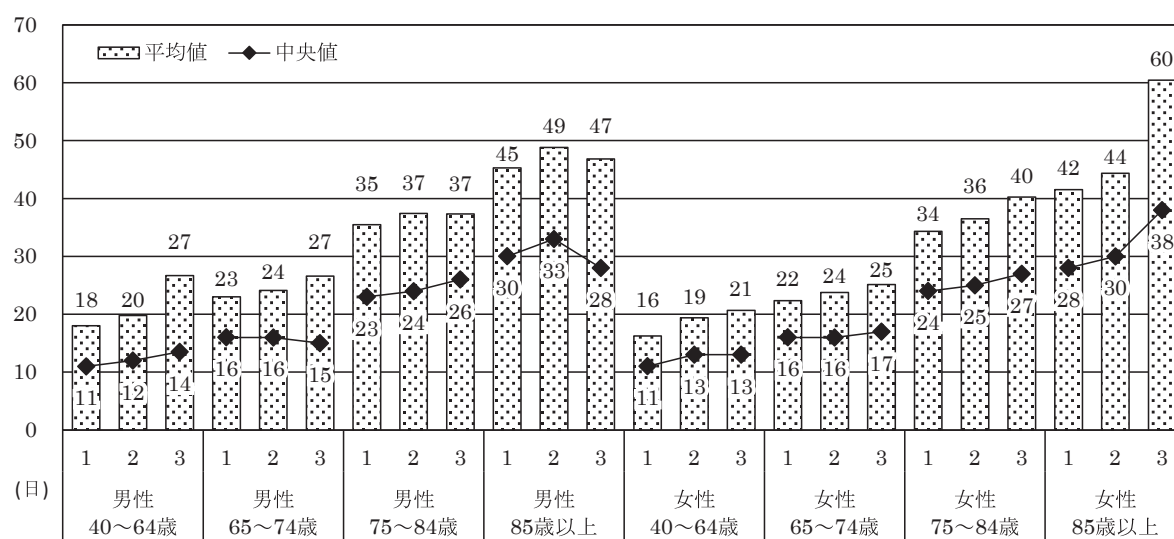
男女ともほぼすべての年齢階級で、医科歯科診療日数・医科歯科診療費・調剤費において、食事をかんで食べる時の状態が悪化するほど高い傾向にあった。

Q13. 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか

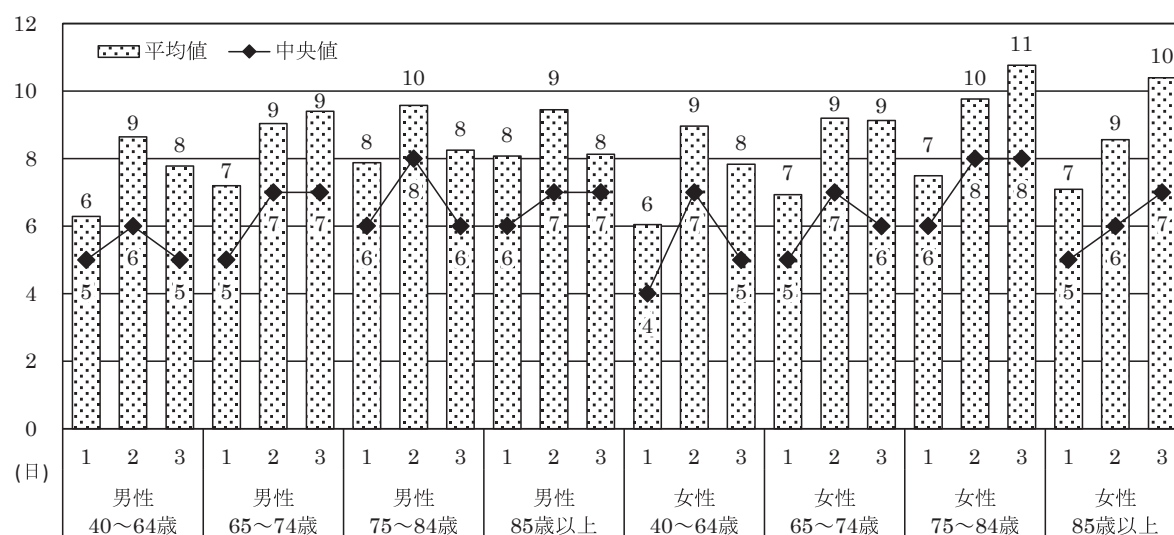
1. 何でもかんで食べることができる
2. 歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある
3. ほとんどかめない

性別	年齢階級	Q13	人数	医科診療日数		歯科診療日数		医科診療費		歯科診療費		調剤費	
				平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
男性	40～64歳	1	5,321	18.0	11.0	6.3	5.0	212,300	72,400	47,100	35,400	93,200	39,700
		2	1,203	19.8	12.0	8.6	6.0	278,000	86,200	65,000	46,700	89,000	47,800
		3	92	26.7	13.5	7.8	5.0	309,700	85,900	60,500	35,700	100,800	64,200
	65～74歳	1	14,354	23.0	16.0	7.2	5.0	314,100	124,200	54,700	41,300	110,100	64,200
		2	5,015	24.1	16.0	9.0	7.0	361,300	128,000	68,600	53,200	117,700	69,200
		3	332	26.6	15.0	9.4	7.0	418,700	121,600	96,800	57,900	131,100	82,000
	75～84歳	1	12,307	35.5	23.0	7.9	6.0	470,600	200,500	61,000	46,000	153,300	109,200
		2	4,195	37.4	24.0	9.6	8.0	483,100	202,600	72,000	55,800	167,600	113,500
		3	300	37.3	26.0	8.2	6.0	620,400	233,400	67,300	47,800	212,300	163,800
	85歳以上	1	3,510	45.3	30.0	8.1	6.0	602,200	268,800	63,200	49,000	186,000	140,600
		2	1,409	48.8	33.0	9.4	7.0	667,800	303,300	73,500	56,400	210,800	157,300
		3	169	46.8	28.0	8.1	7.0	657,100	246,600	63,000	59,100	183,000	164,800
女性	40～64歳	1	8,160	16.3	11.0	6.0	4.0	171,400	68,700	45,700	35,500	62,600	26,900
		2	1,469	19.4	13.0	9.0	7.0	221,000	83,300	62,700	46,100	88,200	35,600
		3	51	20.7	13.0	7.8	5.0	388,200	77,000	66,800	46,500	121,000	37,400
	65～74歳	1	21,738	22.3	16.0	6.9	5.0	241,000	111,300	52,000	39,800	87,100	51,800
		2	5,773	23.8	16.0	9.2	7.0	258,200	112,400	67,900	49,700	94,500	56,300
		3	177	25.1	17.0	9.1	6.0	364,300	138,800	64,700	46,900	123,400	64,800
	75～84歳	1	18,175	34.3	24.0	7.5	6.0	379,000	179,500	58,300	44,400	135,700	95,700
		2	5,978	36.5	25.0	9.8	8.0	398,600	189,300	73,100	56,600	146,100	105,200
		3	329	40.2	27.0	10.8	8.0	400,300	231,500	83,500	66,700	166,600	139,100
	85歳以上	1	6,175	41.5	28.0	7.1	5.0	488,200	229,100	59,200	42,100	167,600	137,600
		2	3,081	44.3	30.0	8.6	6.0	552,500	248,900	69,800	49,800	179,300	151,200
		3	448	60.4	38.0	10.4	7.0	734,300	344,800	78,700	52,800	201,900	180,500

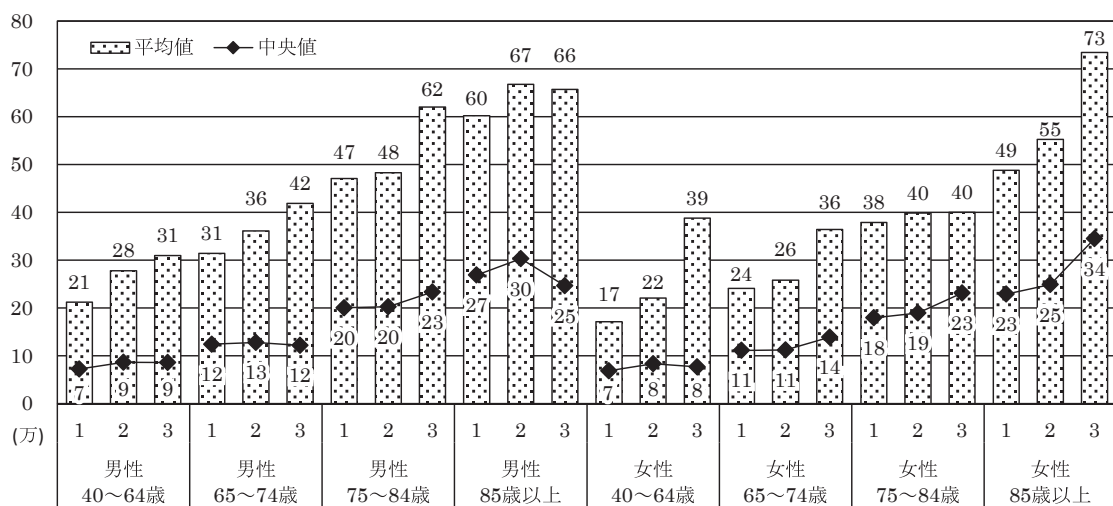
医科診療日数



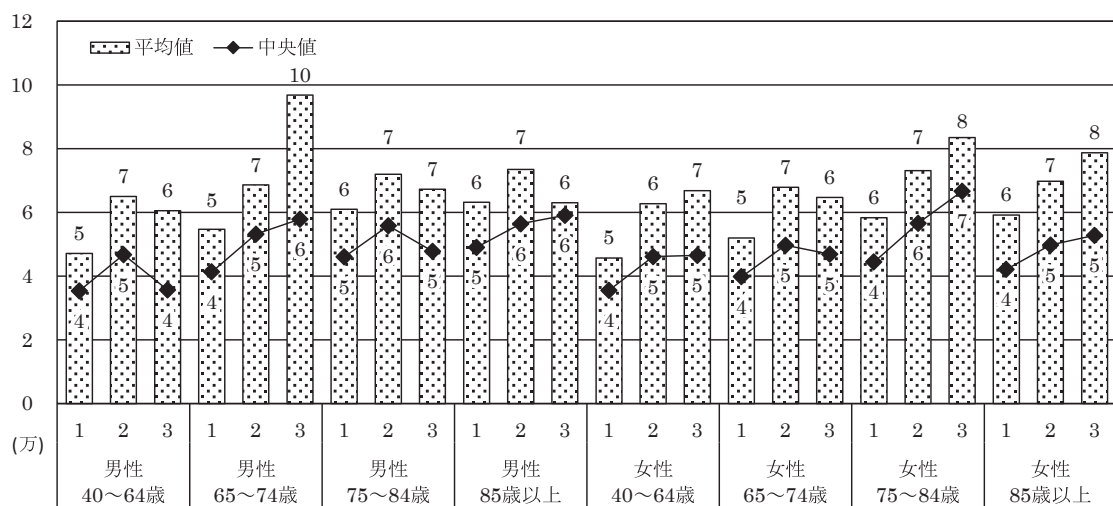
歯科診療日数



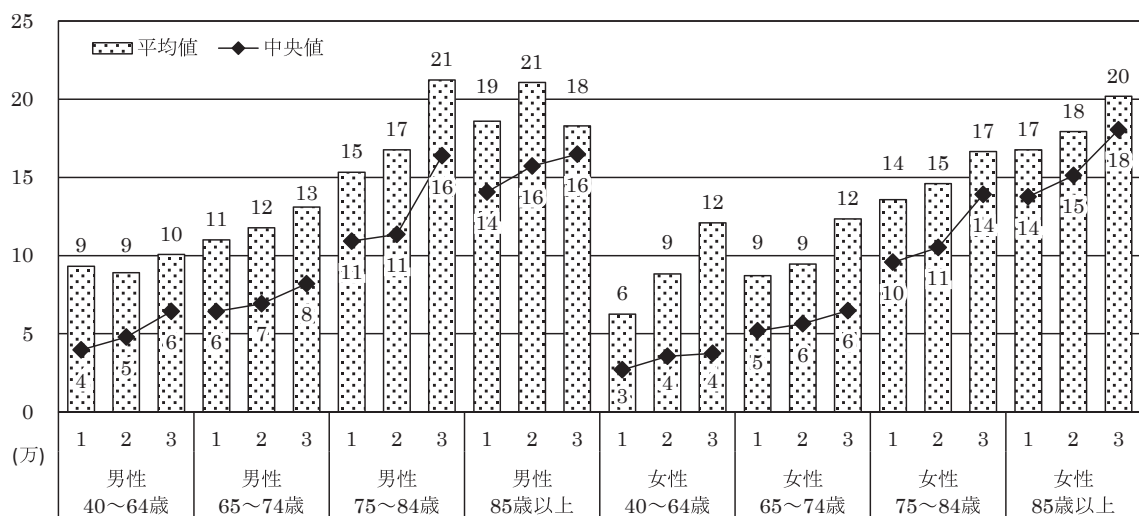
医科診療費



歯科診療費



調剤費



(2) 質問 8「現在、たばこを習慣的に吸っている」と診療日数・医療費

年齢階級が高くなるにつれて、概ね診療日数と医療費は高くなる。

男性ではほぼすべての年齢階級で、医科診療日数・医科診療費・調剤費において、喫煙習慣がない方が高い傾向にあった。また歯科診療日数・歯科診療費においては、喫煙習慣の違いによる明らかな差は見られなかった。

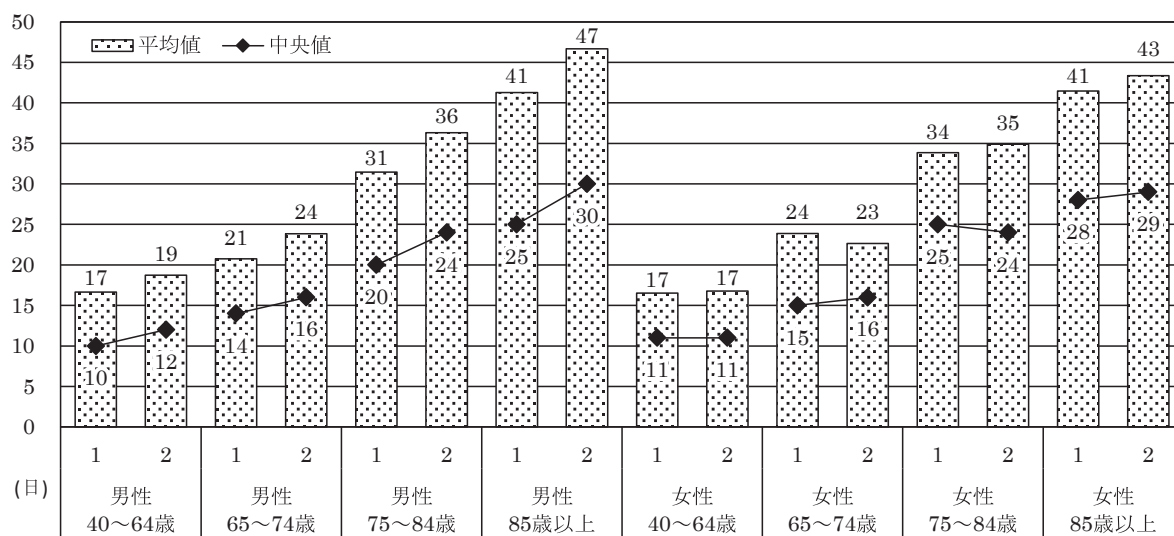
一方女性ではほぼ全年齢階級で、医科診療日数・医科診療費・調剤費において、喫煙習慣の違いによる明らかな差は見られなかった。また歯科診療日数・歯科診療費においては、喫煙習慣がある方が高い傾向にあった。

Q8. 現在、たばこを習慣的に吸っている

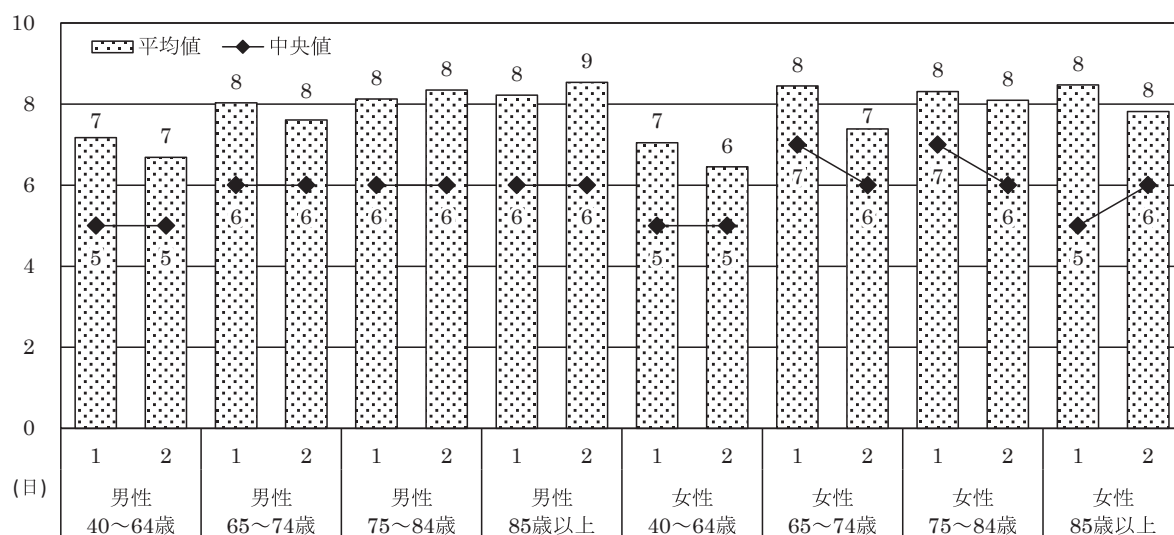
1. はい
2. いいえ

性別	年齢階級	Q8	人数	喫煙率	医科診療日数		歯科診療日数		医科診療費		歯科診療費		調剤費	
					平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
男性	40～64歳	1	1,944	27.6%	16.6	10.0	7.2	5.0	202,700	71,700	54,400	40,200	94,800	34,200
		2	5,105		18.7	12.0	6.7	5.0	228,600	75,300	50,100	36,000	92,100	42,500
	65～74歳	1	3,868	18.4%	20.7	14.0	8.0	6.0	281,200	110,600	62,200	48,100	97,800	59,600
		2	17,105		23.9	16.0	7.6	6.0	334,900	129,300	57,800	42,900	114,300	66,500
	75～84歳	1	1,651	9.4%	31.4	20.0	8.1	6.0	432,100	160,700	62,100	45,600	131,900	99,600
		2	15,915		36.3	24.0	8.3	6.0	477,400	206,700	64,200	48,500	159,600	111,900
	85歳以上	1	263	5.0%	41.3	25.0	8.2	6.0	512,200	198,700	62,000	54,200	199,100	145,100
		2	5,006		46.7	30.0	8.5	6.0	629,400	283,600	66,500	51,100	193,200	147,700
女性	40～64歳	1	786	7.7%	16.5	11.0	7.0	5.0	181,200	66,400	53,000	39,500	70,600	27,300
		2	9,487		16.8	11.0	6.5	5.0	178,600	71,500	48,100	36,500	68,400	28,000
	65～74歳	1	736	2.5%	23.9	15.0	8.4	7.0	282,400	114,100	66,200	47,800	105,100	59,400
		2	28,475		22.7	16.0	7.4	6.0	245,100	111,900	55,200	41,500	88,500	52,600
	75～84歳	1	295	1.2%	33.8	25.0	8.3	7.0	398,300	195,800	62,100	54,000	133,900	107,600
		2	25,147		34.9	24.0	8.1	6.0	383,800	182,000	62,200	46,900	139,000	98,300
	85歳以上	1	49	0.5%	41.4	28.0	8.5	5.0	380,900	197,600	72,300	63,100	180,800	163,800
		2	10,008		43.4	29.0	7.8	6.0	523,000	240,400	64,100	45,100	174,600	145,600

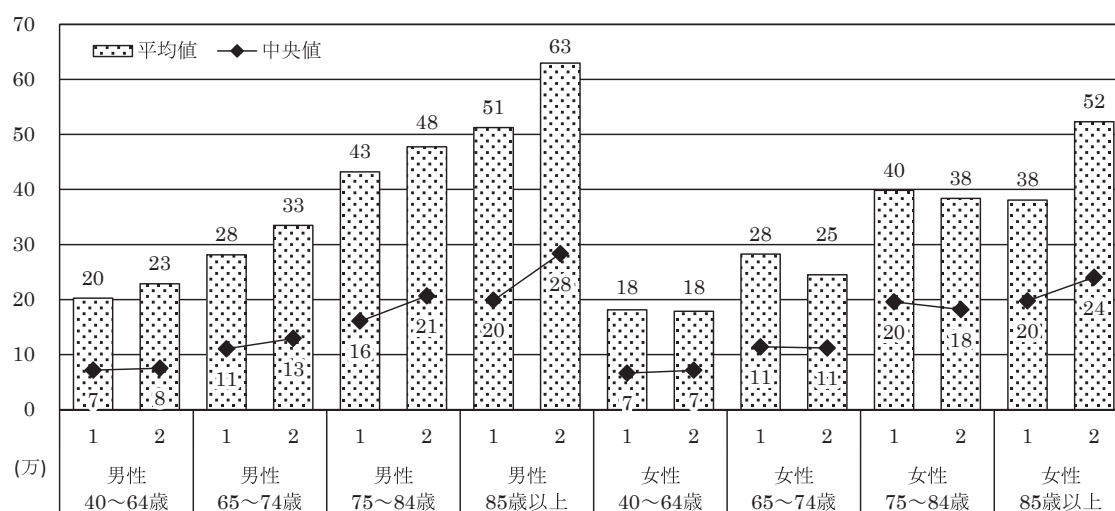
医科診療日数



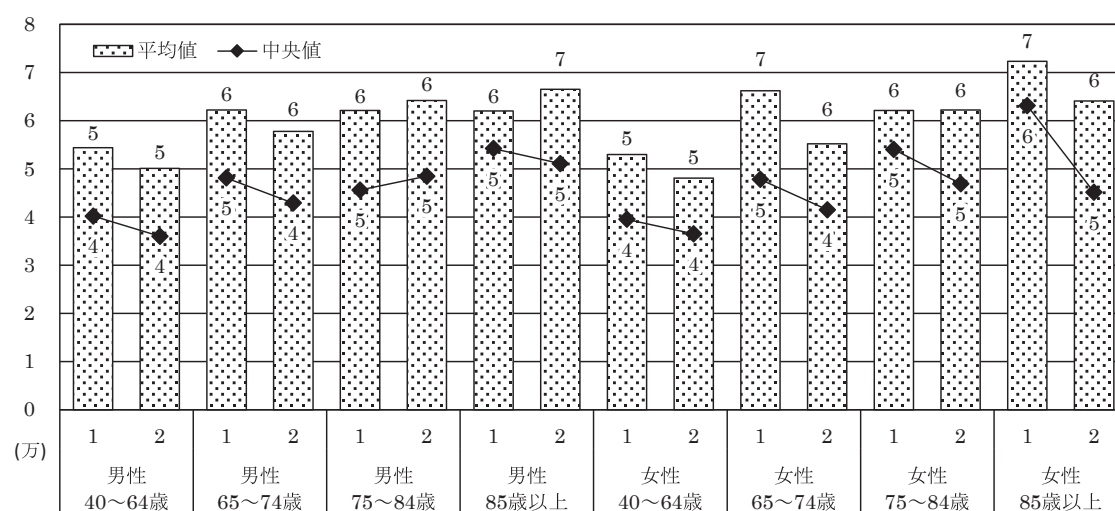
歯科診療日数



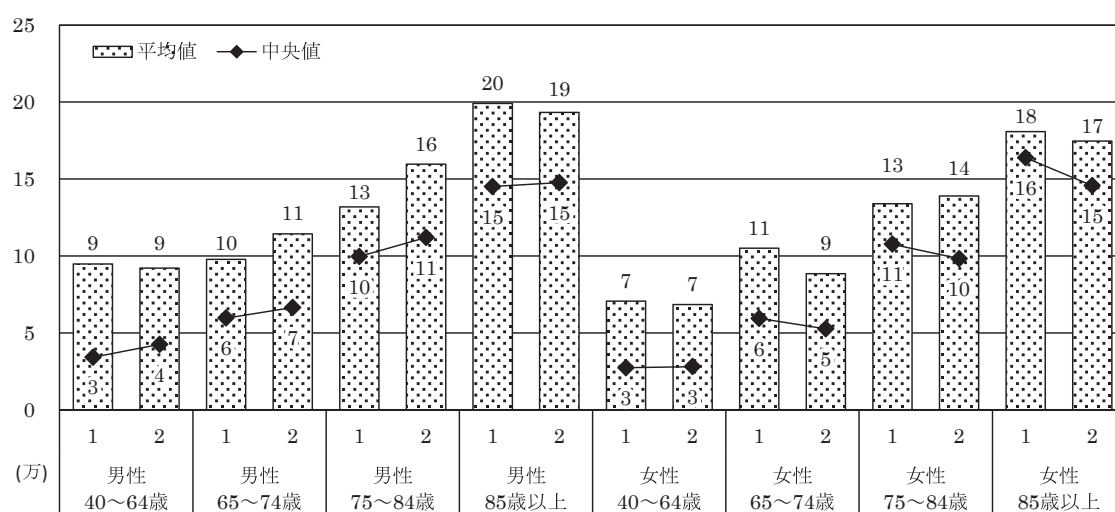
医科診療費



歯科診療費



調剤費



(3) 質問 14「人と比較して食べる速度が速い」と診療日数・医療費

年齢階級が高くなるにつれて、概ね診療日数と医療費は高くなる。

男性ではほぼすべての年齢階級で、医科歯科診療日数・医科歯科診療費・調剤費において、食べる速度が遅い方が高い傾向にあった。

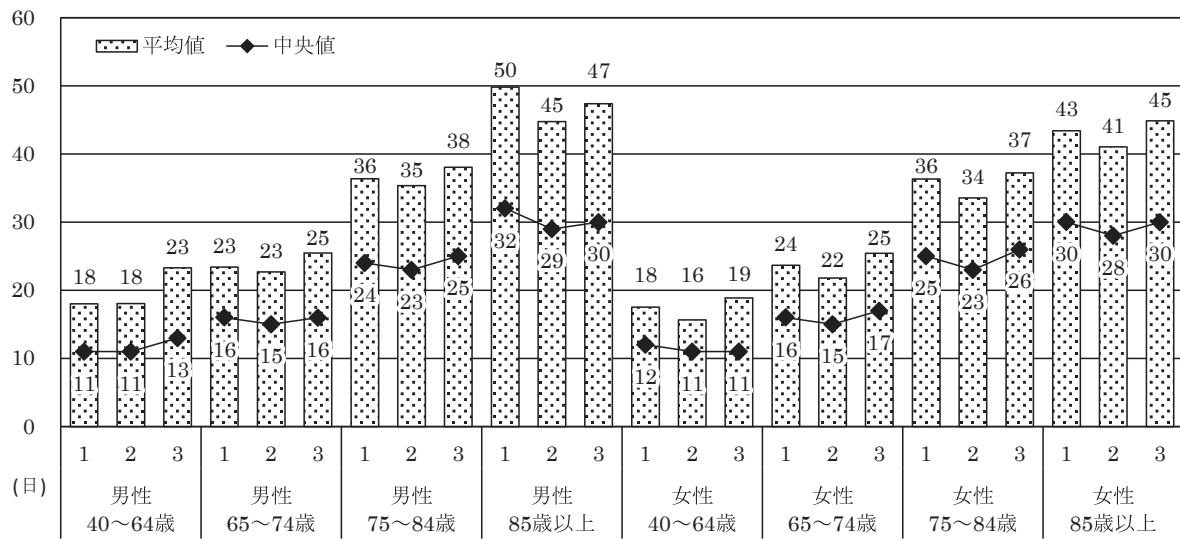
一方女性ではほぼすべての年齢階級で、医科診療日数・医科診療費・調剤費において、食べる速度がふつう→早い→遅いの順で高い傾向にあった。また歯科診療日数・歯科診療費においては、早い・ふつうでは差は見られなかったが、遅いと回答した群で高い傾向にあった。

Q14. 人と比較して食べる速度が速い

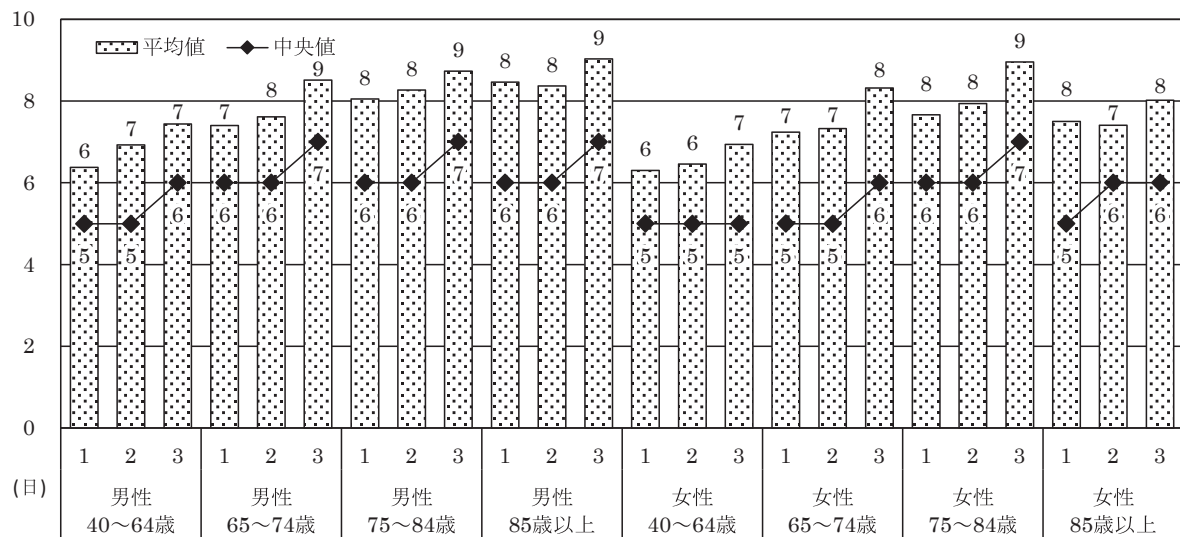
1. 速い
2. ふつう
3. 遅い

性別	年齢階級	Q14	人数	医科診療日数		歯科診療日数		医科診療費		歯科診療費		調剤費	
				平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
男性	40～64歳	1	2,226	18.0	11.0	6.4	5.0	234,800	72,400	48,000	35,000	92,900	39,500
		2	3,284	18.1	11.0	6.9	5.0	199,800	75,000	51,400	37,300	91,400	39,100
		3	389	23.3	13.0	7.4	6.0	461,900	83,900	53,900	41,600	115,900	54,200
	65～74歳	1	5,275	23.4	16.0	7.4	6.0	318,400	128,200	56,200	42,900	112,000	68,600
		2	10,653	22.7	15.0	7.6	6.0	319,500	121,800	57,800	43,200	109,200	62,700
		3	1,663	25.5	16.0	8.5	7.0	385,100	123,900	65,600	48,100	130,300	68,200
	75～84歳	1	3,491	36.4	24.0	8.0	6.0	477,100	202,300	62,300	48,600	156,800	111,300
		2	9,142	35.4	23.0	8.3	6.0	464,300	195,200	63,200	47,100	152,600	107,600
		3	2,061	38.0	25.0	8.7	7.0	529,300	218,400	67,100	51,300	179,200	119,700
	85歳以上	1	730	49.8	32.0	8.5	6.0	595,500	273,300	66,100	51,100	190,200	153,700
		2	2,728	44.7	29.0	8.4	6.0	596,900	274,400	64,900	50,300	194,100	140,600
		3	1,005	47.4	30.0	9.0	7.0	693,400	287,300	70,200	53,300	192,900	147,500
女性	40～64歳	1	2,333	17.5	12.0	6.3	5.0	215,400	76,900	48,000	36,500	67,400	30,700
		2	5,436	15.6	11.0	6.5	5.0	158,600	67,600	48,000	36,200	64,700	27,000
		3	768	18.9	11.0	6.9	5.0	209,200	74,900	52,500	38,300	87,500	30,100
	65～74歳	1	5,874	23.7	16.0	7.2	5.0	267,500	118,300	53,800	40,700	87,700	55,300
		2	16,351	21.8	15.0	7.3	5.0	227,800	107,400	54,900	41,000	84,200	50,500
		3	2,006	25.4	17.0	8.3	6.0	304,200	125,400	61,300	46,000	130,200	59,600
	75～84歳	1	4,078	36.3	25.0	7.7	6.0	389,200	189,900	59,600	45,600	137,400	98,200
		2	14,336	33.6	23.0	7.9	6.0	364,000	174,100	61,100	46,600	131,200	93,900
		3	2,838	37.2	26.0	9.0	7.0	455,600	201,700	68,800	50,800	160,800	112,200
	85歳以上	1	1,014	43.4	30.0	7.5	5.0	491,300	240,500	59,500	42,600	171,600	149,800
		2	5,152	41.0	28.0	7.4	6.0	474,600	221,100	60,600	44,100	167,600	137,700
		3	2,232	44.9	30.0	8.0	6.0	598,300	257,800	67,700	45,500	177,300	147,900

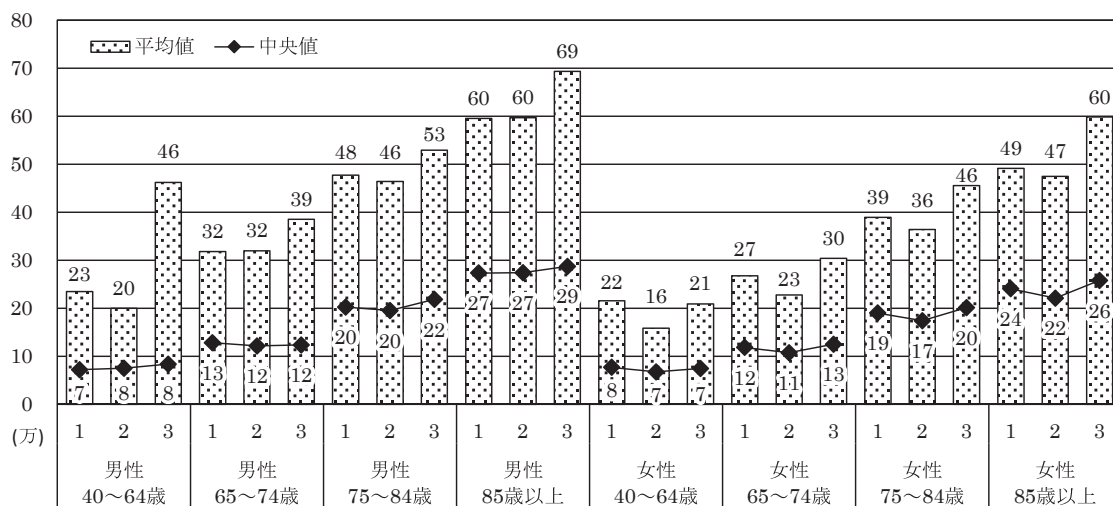
医科診療日数



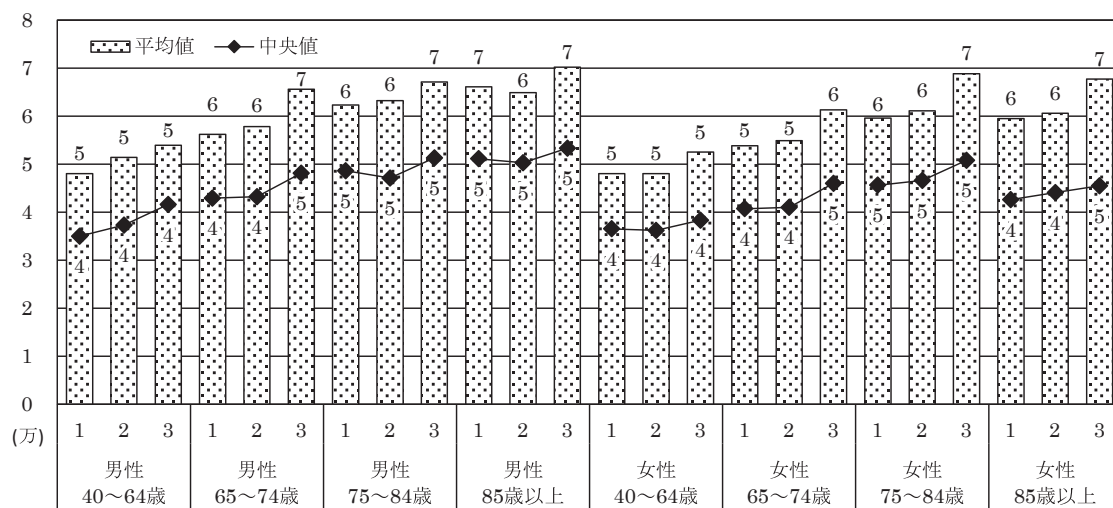
歯科診療日数



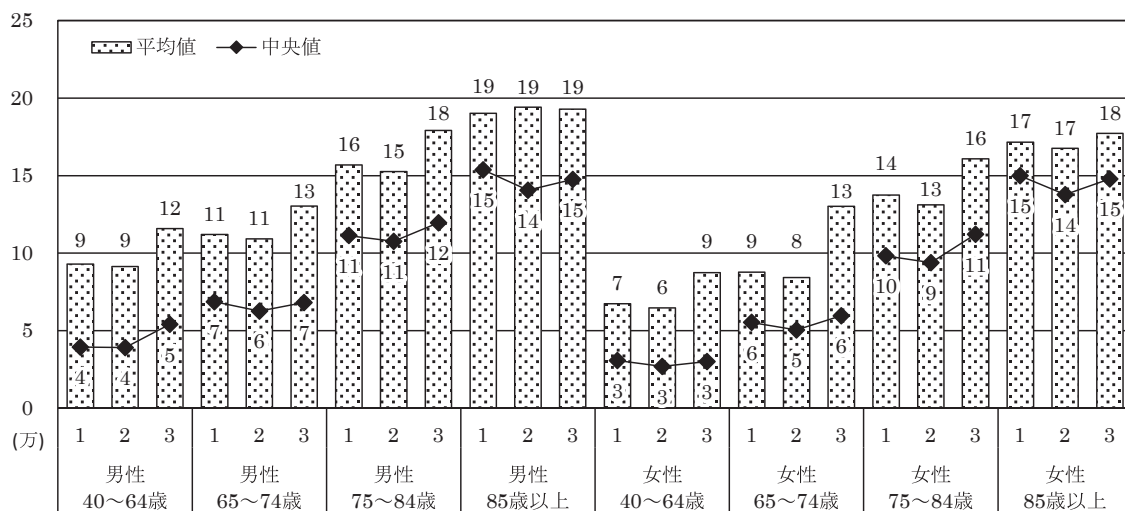
医科診療費



歯科診療費



調剤費



(4) 質問 15「就寝前の 2 時間以内に夕食をとることが週に 3 回以上ある」と診療日数・医療費

年齢階級が高くなるにつれて、概ね診療日数と医療費は高くなる。

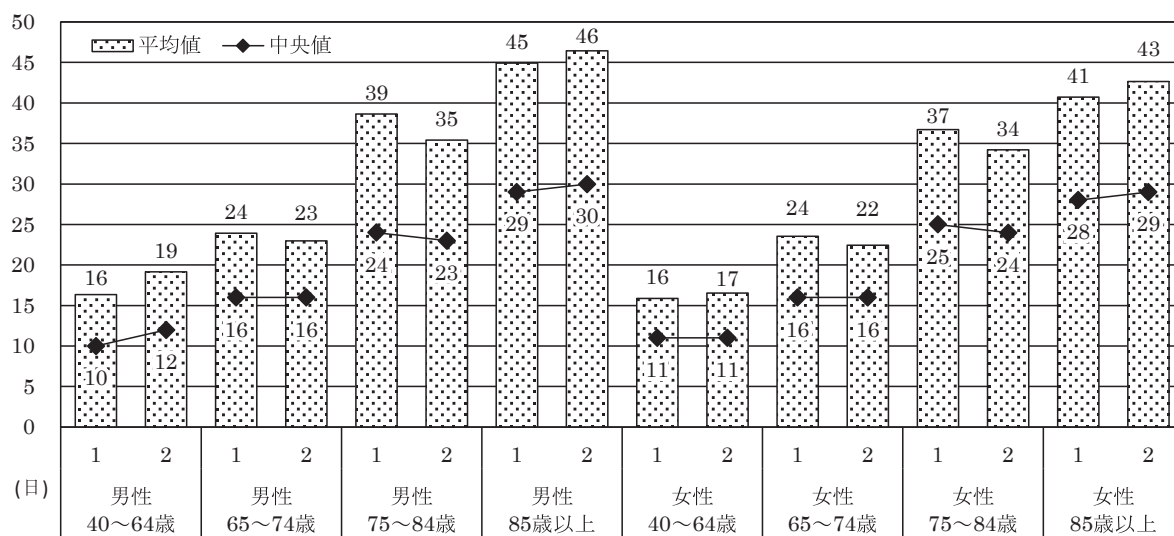
男女ともほぼすべての年齢階級で、内科診療日数・内科診療費・調剤費において、就寝前の食事摂取による違いによる明らかな差は見られなかった。一方、歯科診療日数・歯科診療費については、はいと回答した群で、若干高い傾向にあった。

Q15. 就寝前の 2 時間以内に夕食をとることが週に 3 回以上ある

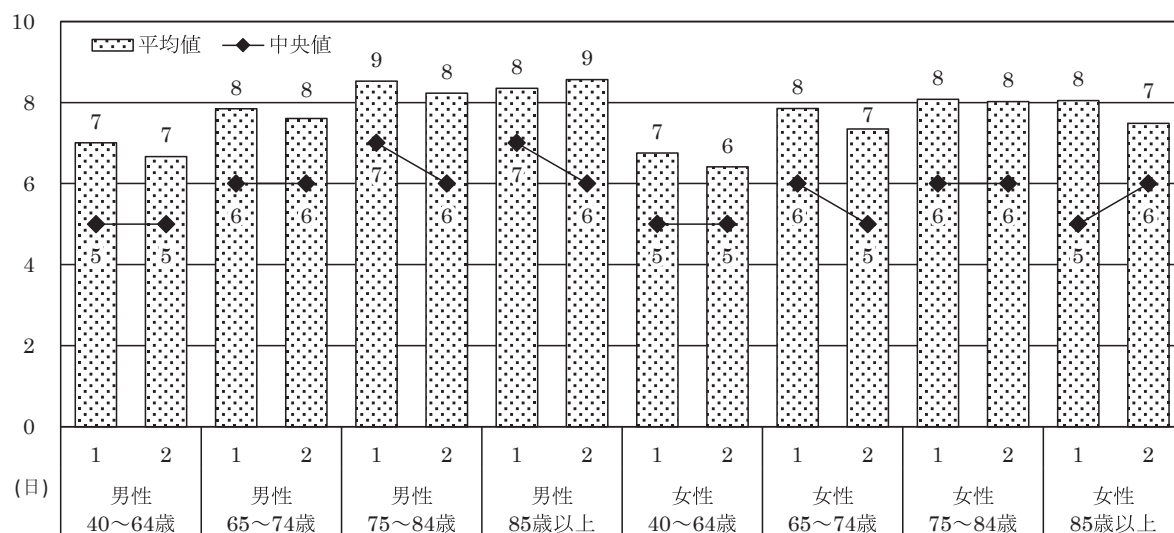
1. はい
2. いいえ

性別	年齢階級	Q15	人数	内科診療日数		歯科診療日数		内科診療費		歯科診療費		調剤費	
				平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
男性	40～64歳	1	1,607	16.3	10.0	7.0	5.0	210,100	68,100	52,500	38,200	79,800	34,200
		2	4,282	19.2	12.0	6.7	5.0	238,400	76,800	49,500	36,600	98,800	42,600
	65～74歳	1	2,812	23.9	16.0	7.8	6.0	334,300	124,700	59,700	43,500	102,900	65,200
		2	14,721	23.0	16.0	7.6	6.0	323,300	124,100	57,800	43,400	113,600	64,700
	75～84歳	1	2,614	38.6	24.0	8.5	7.0	527,700	214,600	66,200	49,400	158,900	111,500
		2	12,015	35.4	23.0	8.2	6.0	466,000	197,500	62,900	47,700	157,000	109,300
	85歳以上	1	824	44.9	29.0	8.4	7.0	570,900	262,400	67,600	51,800	185,800	146,300
		2	3,611	46.4	30.0	8.6	6.0	630,800	278,700	66,000	51,200	194,600	143,900
女性	40～64歳	1	1,195	15.9	11.0	6.8	5.0	159,000	71,500	50,000	36,600	66,900	25,600
		2	7,322	16.5	11.0	6.4	5.0	181,900	70,500	48,100	36,400	67,700	28,500
	65～74歳	1	2,105	23.5	16.0	7.9	6.0	262,800	116,600	60,600	43,600	89,700	57,300
		2	22,035	22.4	16.0	7.3	5.0	242,100	110,800	54,600	41,000	88,900	51,800
	75～84歳	1	2,804	36.7	25.0	8.1	6.0	415,900	195,700	63,100	48,700	143,800	106,600
		2	18,336	34.2	24.0	8.0	6.0	375,400	177,500	61,600	46,700	135,200	95,600
	85歳以上	1	1,291	40.7	28.0	8.0	5.0	481,500	220,500	64,400	45,000	166,100	141,300
		2	7,067	42.7	29.0	7.5	6.0	515,200	235,800	61,900	44,100	171,500	141,800

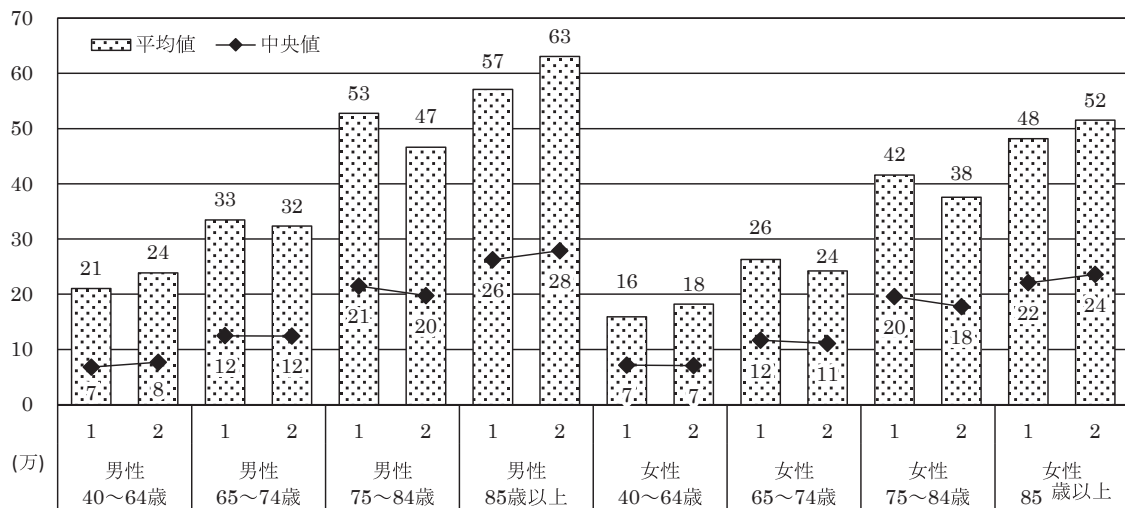
医科診療日数



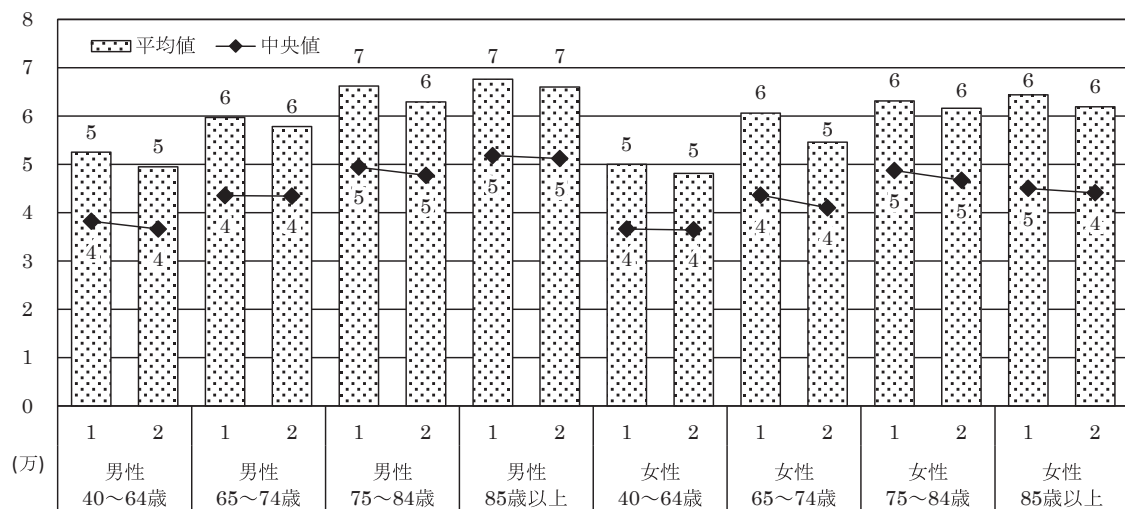
歯科診療日数



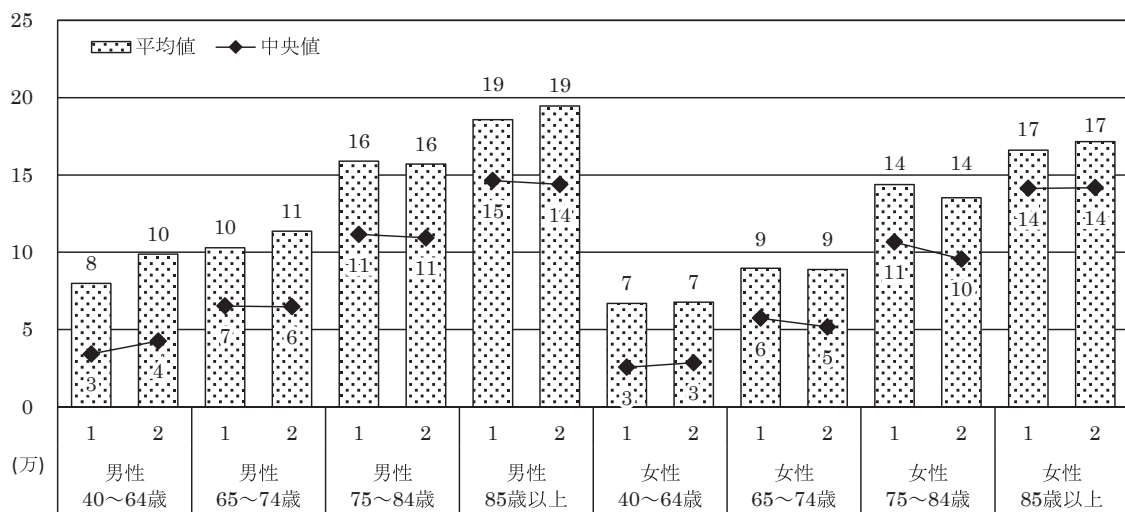
医科診療費



歯科診療費



調剤費



(5) 質問 16「朝昼夕の 3 食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか」の回答状況別診療日数・医療費の状況

年齢階級が高くなるにつれて、概ね診療日数と医療費は高くなる。

男性ではほぼすべての年齢階級で、診療日数と医療費において、間食や甘い飲み物を摂取する頻度の違いによる明らかな差は見られなかった。

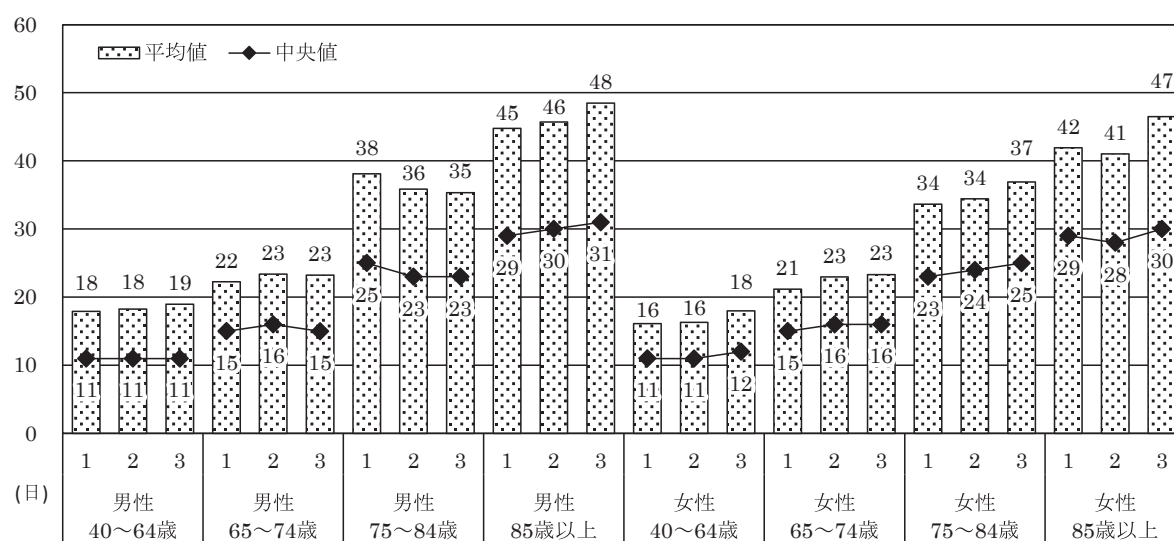
一方、女性では医科診療日数と医科診療費において、ほぼすべての年齢階級で、間食や甘い飲み物を摂取する頻度の違いによる若干の差が見られた。すなわち、間食や甘い飲み物を摂取する頻度が少ない人ほど、医科診療日数が多く医科診療費が高い傾向にあった。歯科診療日数、歯科診療費、調剤費においては、明らかな差はみられなかった。

Q16. 朝昼夕の 3 食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか

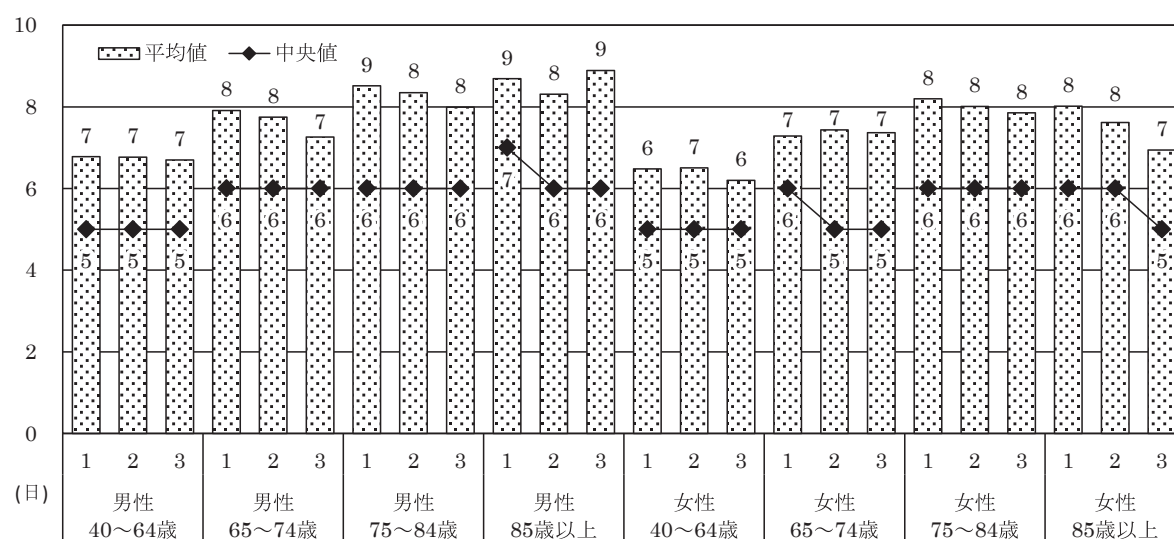
1. 毎日
2. 時々
3. ほとんど摂取しない

性別	年齢階級	Q16	人数	医科診療日数		歯科診療日数		医科診療費		歯科診療費		調剤費	
				平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
男性	40～64歳	1	1,016	17.9	11.0	6.8	5.0	281,800	68,500	50,100	35,900	105,800	37,300
		2	3,283	18.3	11.0	6.8	5.0	214,700	74,300	50,100	37,600	92,800	40,300
		3	1,568	19.0	11.0	6.7	5.0	232,500	77,700	50,800	36,900	88,100	41,300
	65～74歳	1	2,496	22.2	15.0	7.9	6.0	317,800	118,900	59,500	44,800	109,200	60,100
		2	9,986	23.4	16.0	7.7	6.0	330,400	124,700	59,200	43,800	110,600	64,900
		3	5,007	23.2	15.0	7.3	6.0	318,700	125,400	54,800	41,700	116,500	66,700
	75～84歳	1	2,297	38.1	25.0	8.5	6.0	523,500	217,000	66,900	49,900	165,700	116,700
		2	8,376	35.9	23.0	8.3	6.0	465,300	198,100	63,400	48,000	156,900	110,600
		3	3,899	35.3	23.0	8.0	6.0	478,400	201,300	61,900	46,800	155,000	104,800
	85歳以上	1	946	44.8	29.0	8.7	7.0	647,100	274,800	67,400	53,100	198,000	145,200
		2	2,349	45.7	30.0	8.3	6.0	589,400	267,500	65,700	51,200	193,300	140,600
		3	1,135	48.5	31.0	8.9	6.0	657,300	301,100	66,700	50,300	187,900	146,600
女性	40～64歳	1	2,678	16.1	11.0	6.5	5.0	179,700	69,200	47,900	36,300	61,000	25,200
		2	4,710	16.3	11.0	6.5	5.0	171,800	70,900	49,100	36,600	72,200	29,800
		3	1,105	18.0	12.0	6.2	5.0	207,800	71,600	46,700	36,300	64,400	30,200
	65～74歳	1	6,375	21.2	15.0	7.3	6.0	215,200	105,800	54,400	41,500	82,800	48,400
		2	14,416	23.0	16.0	7.4	5.0	253,700	113,200	55,400	41,400	90,500	53,700
		3	3,255	23.3	16.0	7.4	5.0	253,200	116,400	55,000	39,800	94,200	54,400
	75～84歳	1	4,808	33.6	23.0	8.2	6.0	364,000	173,900	63,500	48,000	130,100	94,800
		2	12,830	34.4	24.0	8.0	6.0	379,300	180,100	61,500	46,900	137,600	96,800
		3	3,422	36.9	25.0	7.9	6.0	417,200	192,700	61,100	45,100	142,600	101,200
	85歳以上	1	2,091	41.9	29.0	8.0	6.0	491,900	229,300	63,300	46,000	175,800	148,900
		2	4,614	41.0	28.0	7.6	6.0	493,700	231,400	63,900	45,000	166,700	137,600
		3	1,660	46.5	30.0	6.9	5.0	577,400	240,800	56,900	40,500	175,800	144,500

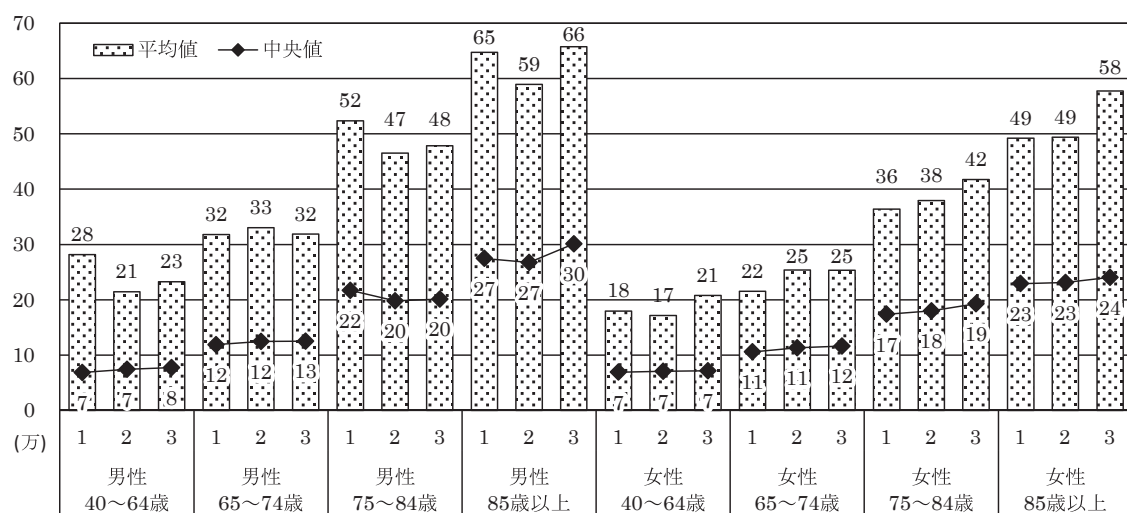
医科診療日数



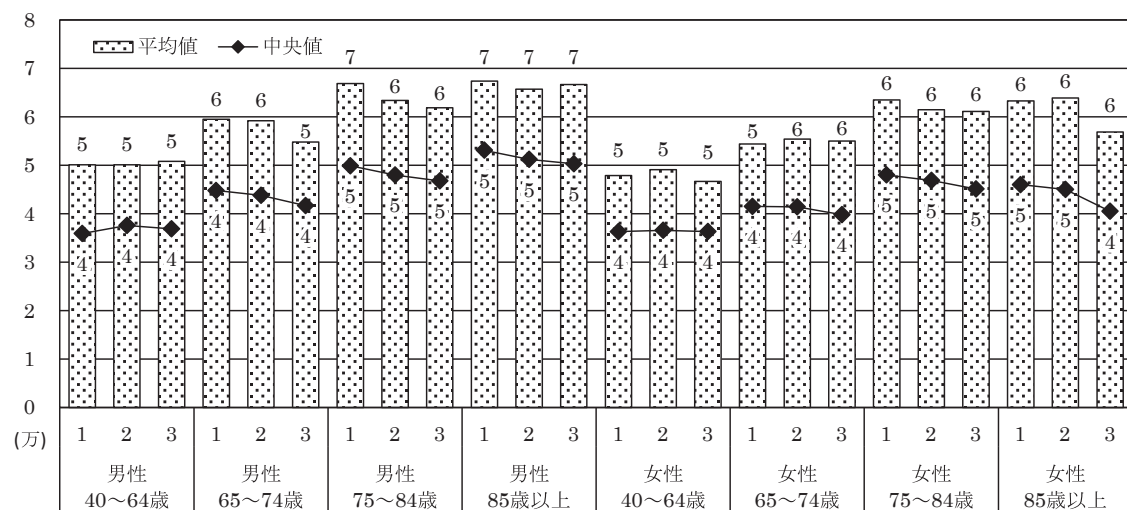
歯科診療日数



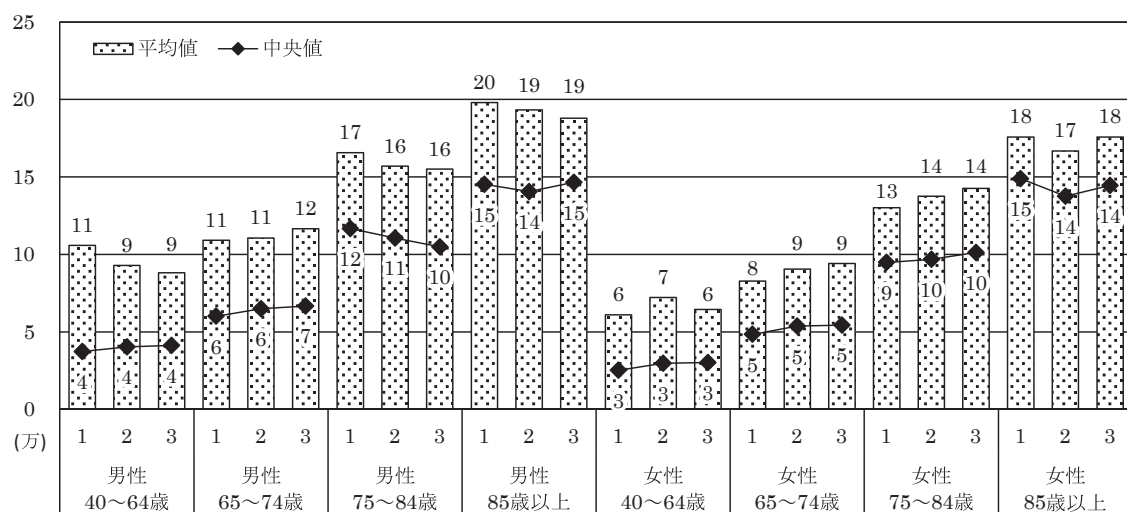
医科診療費



歯科診療費



調剤費



(6) 質問 17「朝食を抜くことが週に 3 回以上ある」の回答状況別、診療日数・医療費の状況

年齢階級が高くなるにつれて、概ね診療日数と医療費は高くなる。

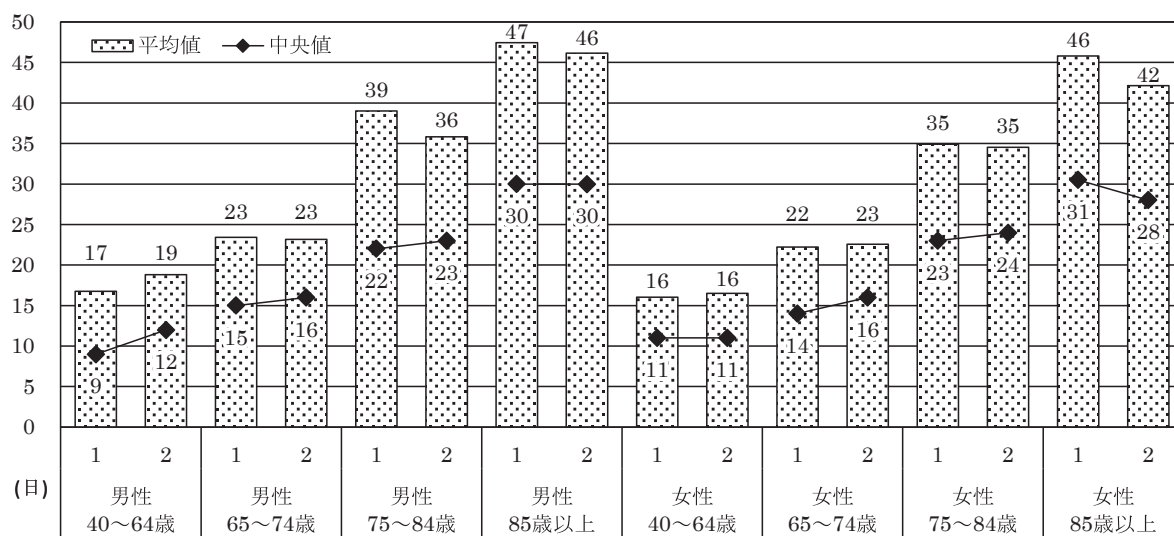
男女とも 75 歳以上の年齢階級で、医科診療日数と医科診療費において、朝食を抜く回数の違いによる若干の差が見られた。すなわち、朝食を 3 回以上抜く人の方が、医科診療日数が多く医科診療費が高い傾向にあった。

Q17. 朝食を抜くことが週に 3 回以上ある

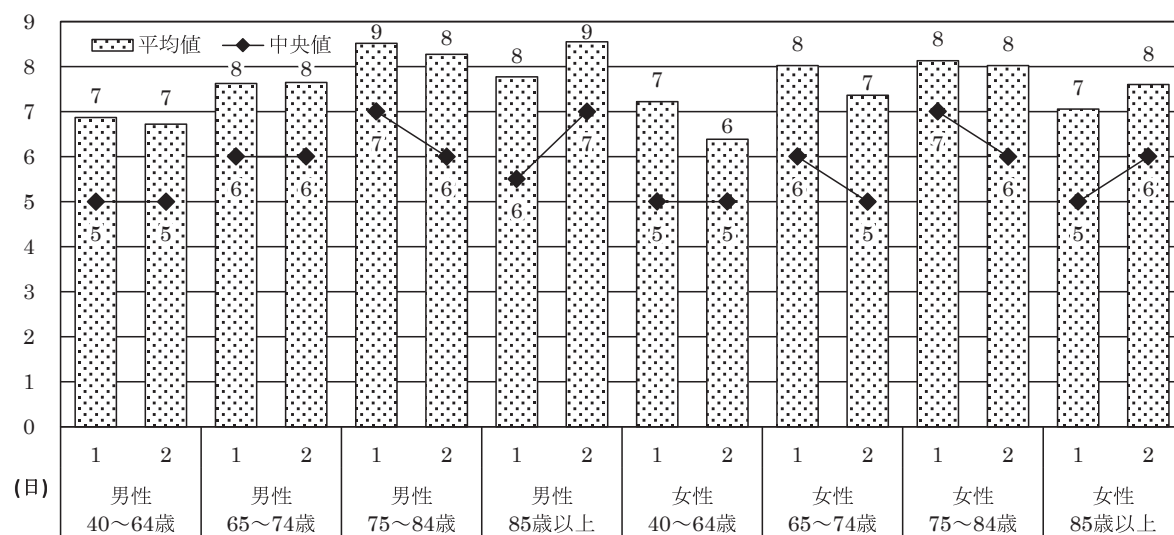
1. はい
2. いいえ

性別	年齢階級	Q17	人数	医科診療日数		歯科診療日数		医科診療費		歯科診療費		調剤費	
				平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
男性	40～64歳	1	1,194	16.8	9.0	6.9	5.0	222,200	62,600	50,200	35,400	65,000	28,100
		2	4,677	18.8	12.0	6.7	5.0	233,300	77,700	50,300	37,400	100,500	43,900
	65～74歳	1	1,101	23.4	15.0	7.6	6.0	313,200	112,600	58,600	44,700	99,400	58,100
		2	16,419	23.2	16.0	7.6	6.0	326,200	124,700	58,100	43,400	112,700	65,200
	75～84歳	1	566	39.0	22.0	8.5	7.0	511,600	202,400	66,200	51,400	175,300	121,500
		2	14,032	35.8	23.0	8.3	6.0	475,300	200,600	63,400	47,900	156,600	109,200
	85歳以上	1	205	47.4	30.0	7.8	5.5	648,500	288,500	63,100	43,100	164,400	133,200
		2	4,227	46.1	30.0	8.6	7.0	619,200	276,900	66,300	51,400	194,400	144,100
女性	40～64歳	1	925	16.0	11.0	7.2	5.0	167,700	69,500	51,200	38,200	71,400	26,700
		2	7,586	16.5	11.0	6.4	5.0	180,100	70,800	48,100	36,300	67,200	28,300
	65～74歳	1	903	22.2	14.0	8.0	6.0	219,500	105,100	61,200	46,500	93,400	53,000
		2	23,219	22.6	16.0	7.4	5.0	245,000	111,500	54,900	41,000	88,800	52,300
	75～84歳	1	667	34.9	23.0	8.1	7.0	418,100	189,400	67,300	52,600	137,600	97,500
		2	20,472	34.5	24.0	8.0	6.0	379,600	179,700	61,600	46,700	136,300	96,700
	85歳以上	1	390	45.8	30.5	7.1	5.0	630,900	245,200	58,400	42,000	166,500	137,400
		2	7,956	42.1	28.0	7.6	6.0	503,700	232,000	62,500	44,600	170,900	141,500

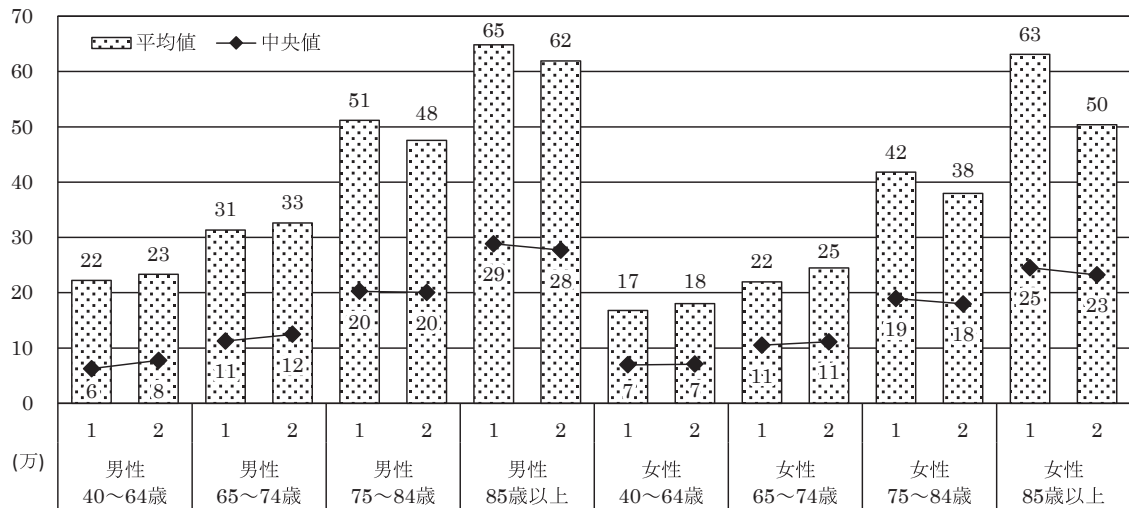
医科診療日数



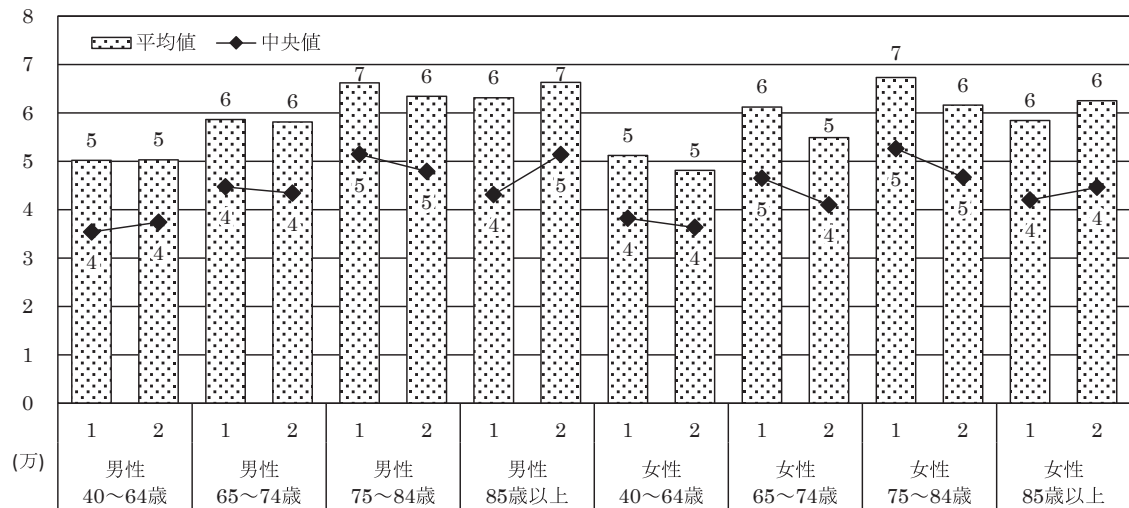
歯科診療日数



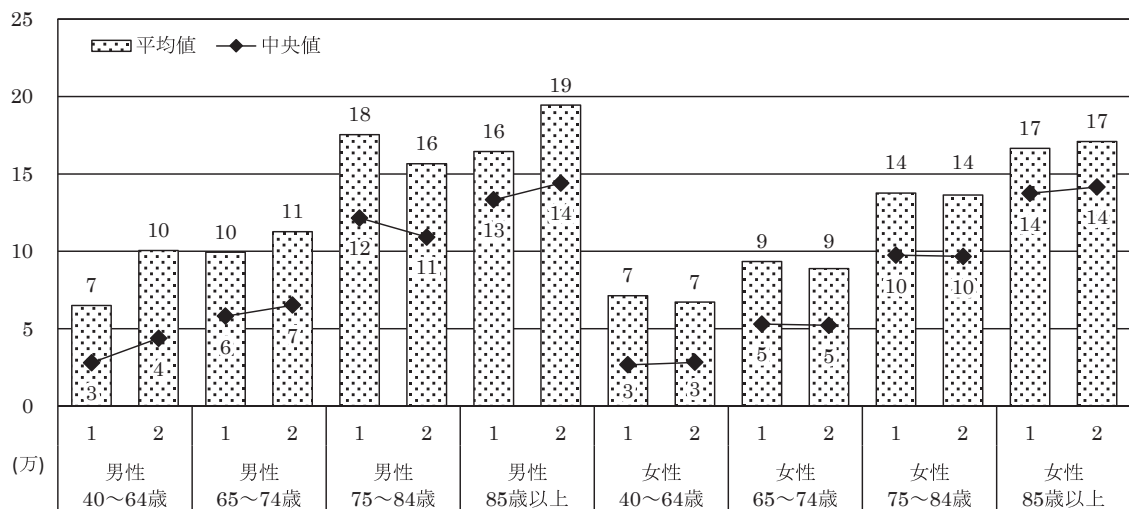
医科診療費



歯科診療費



調剤費



(7) 質問 18「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度」の回答状況別、診療日数・医療費の状況

年齢階級が高くなるにつれて、概ね診療日数と医療費は高くなる。

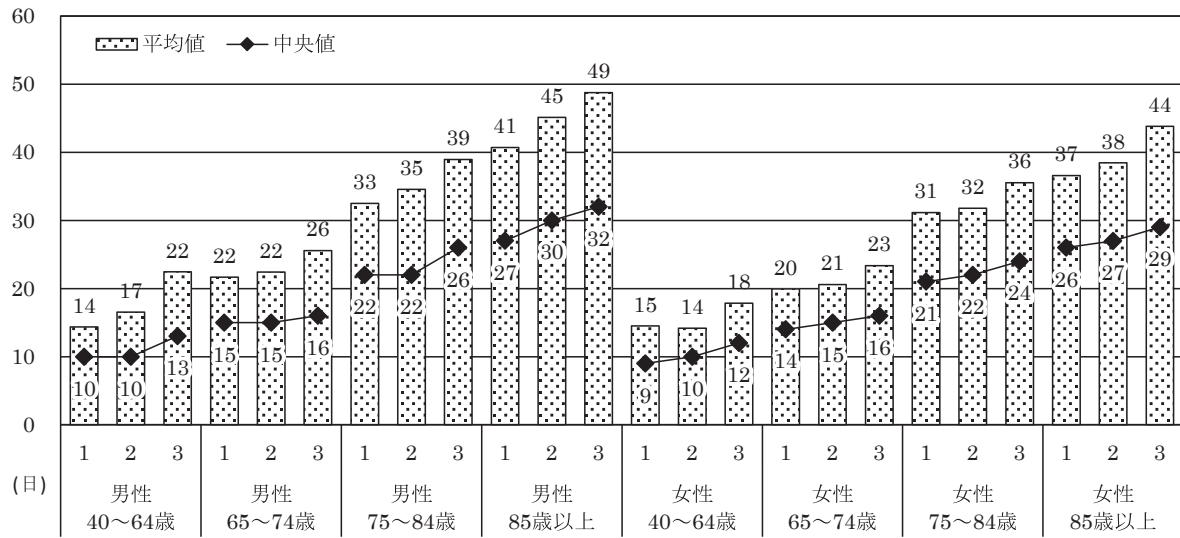
男女とも、医科診療日数と医科診療費および調剤費において、お酒を飲む頻度の違いによる若干の差が見られた。すなわち、お酒を飲む頻度が低いほど、医科診療日数と医科診療費および調剤費が高い傾向にあった。

Q18. お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度

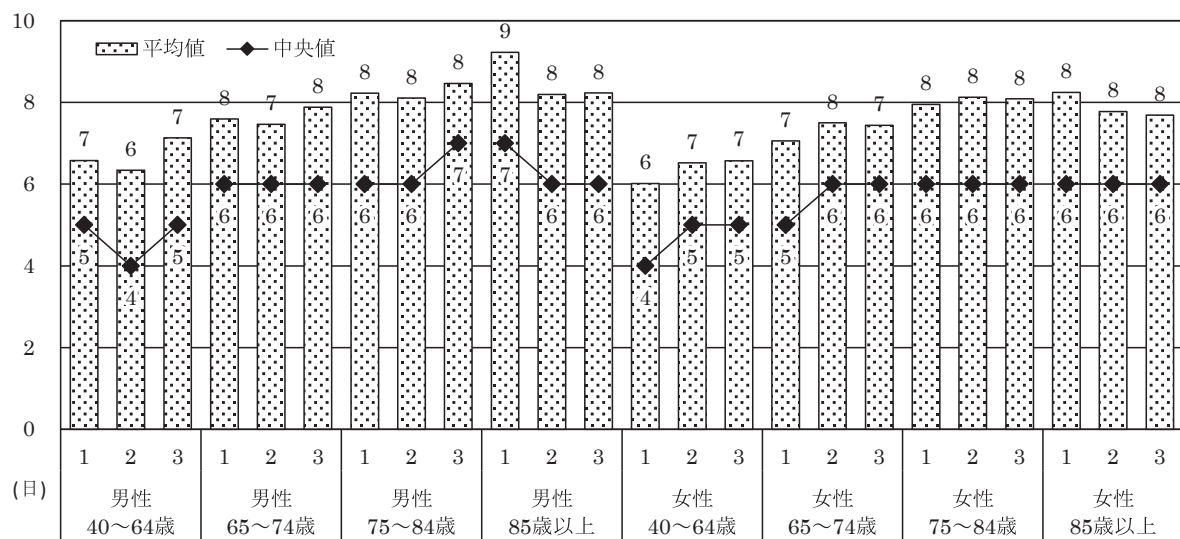
1. 毎日
2. 時々
3. ほとんど飲まない

性別	年齢階級	Q18	人数	医科診療日数		歯科診療日数		医科診療費		歯科診療費		調剤費	
				平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
男性	40～64歳	1	2,269	14.4	10.0	6.6	5.0	166,600	66,700	48,200	35,900	69,400	32,900
		2	1,422	16.5	10.0	6.3	4.0	168,500	67,500	48,400	34,900	75,200	34,000
		3	2,979	22.4	13.0	7.1	5.0	295,100	86,200	53,700	39,000	117,300	52,200
	65～74歳	1	8,277	21.7	15.0	7.6	6.0	290,700	118,600	56,600	43,200	99,200	59,500
		2	3,698	22.4	15.0	7.5	6.0	309,600	120,900	56,900	43,300	104,000	61,300
		3	7,853	25.6	16.0	7.9	6.0	374,600	136,400	61,600	44,500	130,100	76,100
	75～84歳	1	5,893	32.5	22.0	8.2	6.0	387,000	175,400	62,700	47,900	136,100	96,200
		2	3,143	34.6	22.0	8.1	6.0	467,900	192,000	62,100	46,200	145,400	103,200
		3	8,006	38.9	26.0	8.5	7.0	541,300	224,900	65,500	49,400	178,300	126,000
	85歳以上	1	1,187	40.7	27.0	9.2	7.0	497,800	239,800	71,200	54,100	170,000	126,200
		2	768	45.1	30.0	8.2	6.0	584,500	260,700	65,000	52,300	186,200	139,900
		3	3,204	48.8	32.0	8.2	6.0	677,600	299,200	64,500	50,000	202,600	154,300
女性	40～64歳	1	1,183	14.5	9.0	6.0	4.0	183,500	58,100	45,800	35,500	55,200	21,800
		2	1,980	14.2	10.0	6.5	5.0	146,100	62,000	46,600	36,500	56,500	23,600
		3	6,589	17.9	12.0	6.6	5.0	188,300	76,400	49,400	37,100	72,000	31,000
	65～74歳	1	2,053	20.0	14.0	7.1	5.0	194,900	93,300	52,700	39,700	67,400	42,800
		2	4,505	20.6	15.0	7.5	6.0	224,200	102,300	55,400	42,900	75,300	45,000
		3	21,373	23.4	16.0	7.4	6.0	255,000	115,900	55,700	41,600	93,600	56,100
	75～84歳	1	976	31.1	21.0	7.9	6.0	344,700	161,600	60,500	46,700	110,300	83,300
		2	3,121	31.8	22.0	8.1	6.0	325,500	163,500	62,500	47,200	118,500	86,300
		3	20,745	35.5	24.0	8.1	6.0	394,300	185,800	62,200	46,900	142,800	101,500
	85歳以上	1	186	36.6	26.0	8.2	6.0	380,800	203,900	67,700	45,200	155,800	133,200
		2	705	38.5	27.0	7.8	6.0	481,400	221,800	61,600	44,100	147,600	115,800
		3	8,928	43.8	29.0	7.7	6.0	525,600	239,000	63,400	44,900	174,700	146,400

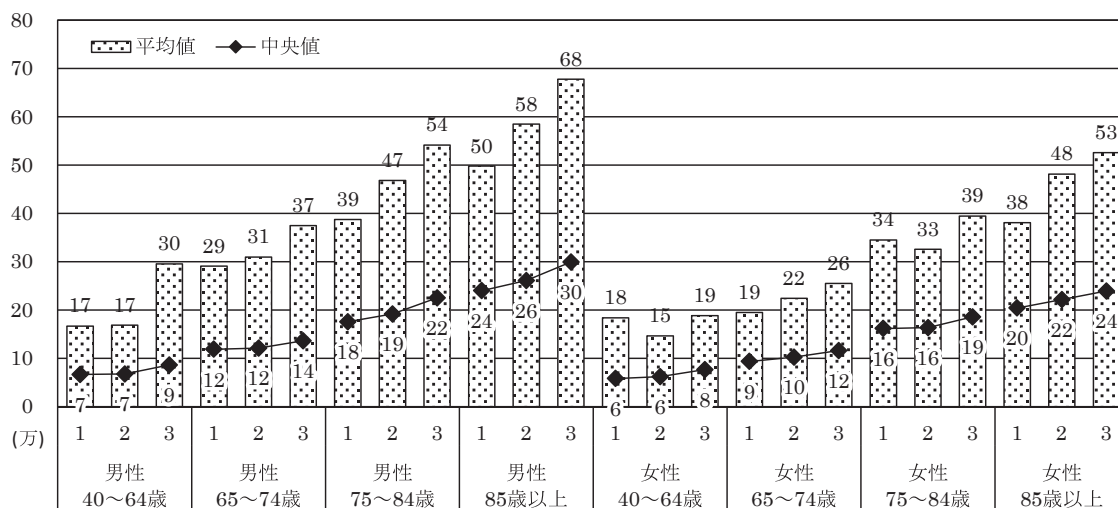
医科診療日数



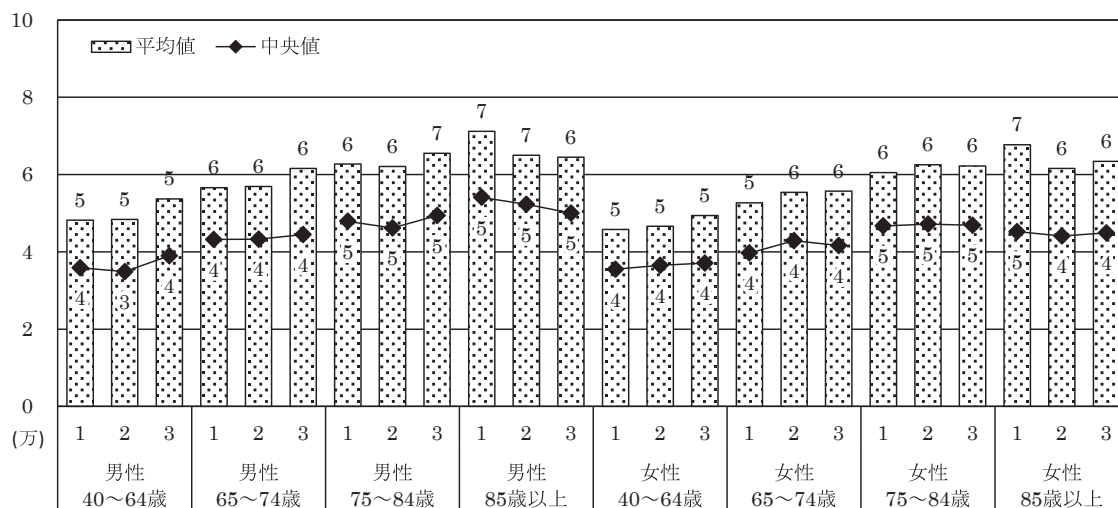
歯科診療日数



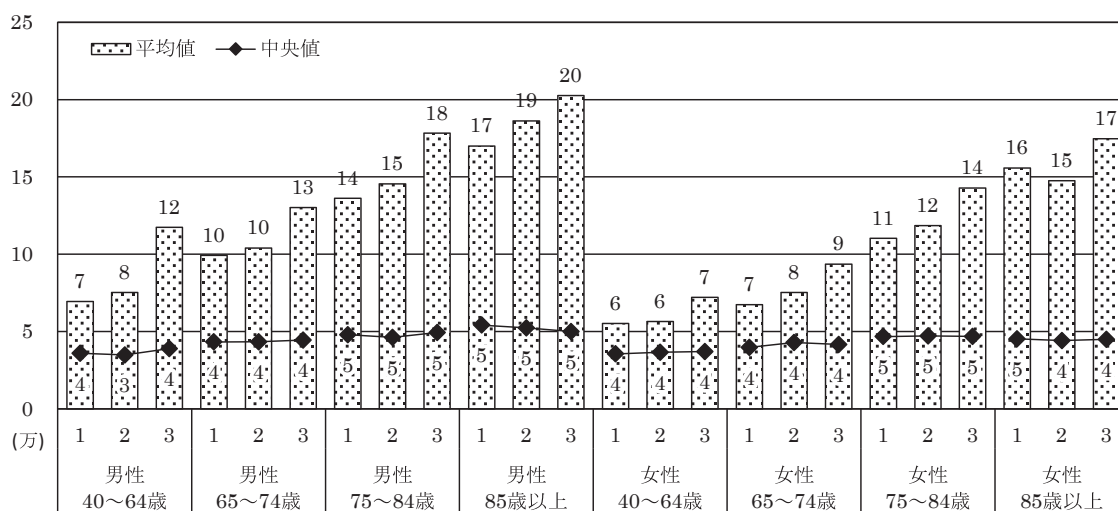
医科診療費



歯科診療費



調剤費



(8) 質問 19「飲酒日の１日当たりの飲酒量」の回答状況別、診療日数・医療費の状況

年齢階級が高くなるにつれて、概ね診療日数と医療費は高くなる。

男性ではほぼすべての年齢階級で、飲酒量が多くなるほど、医科診療費、調剤費が低い傾向にあった。

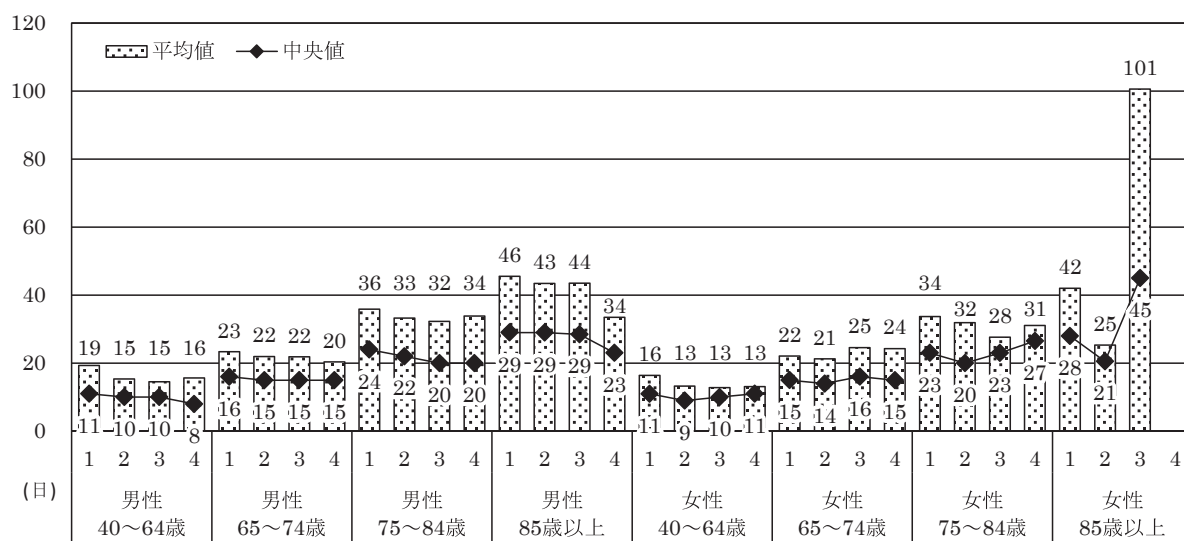
一方、女性では飲酒量の違いによる影響があるかどうかは分からなかった。

Q19. 飲酒日の１日当たりの飲酒量

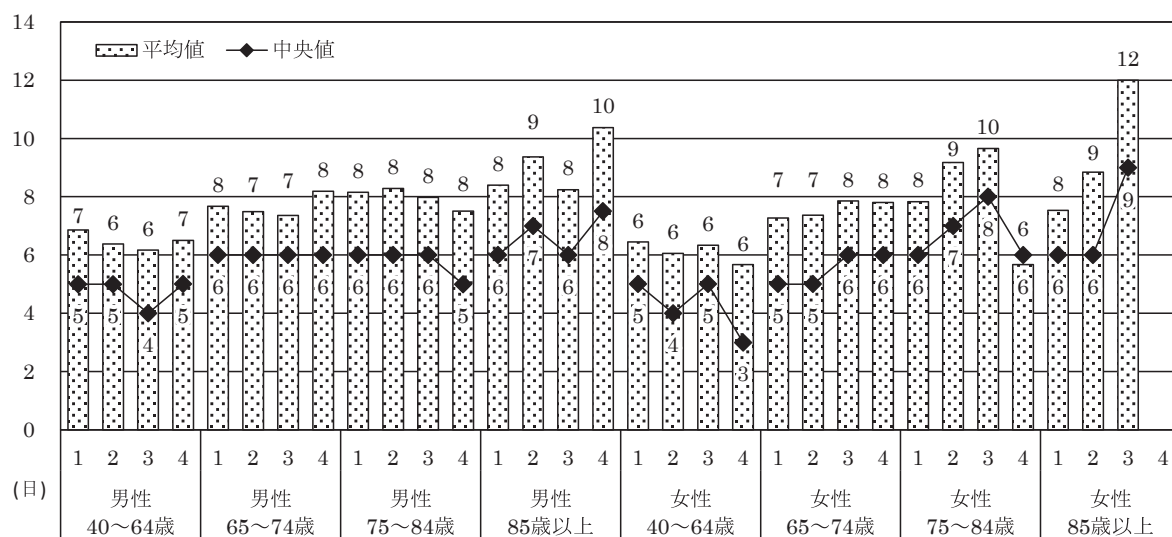
1. 1 合未満
2. 1～2 合未満
3. 2～3 合未満
4. 3 合以上

性別	年齢階級	Q19	人数	医科診療日数		歯科診療日数		医科診療費		歯科診療費		調剤費	
				平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
男性	40～64歳	1	2,837	19.3	11.0	6.9	5.0	261,700	76,300	51,200	38,200	105,300	43,300
		2	1,258	15.4	10.0	6.4	5.0	154,800	70,600	47,200	33,500	72,600	33,000
		3	741	14.5	10.0	6.2	4.0	190,600	64,900	45,900	33,700	65,700	34,400
		4	303	15.7	8.0	6.5	5.0	151,200	62,200	51,300	32,600	76,400	28,500
	65～74歳	1	8,816	23.3	16.0	7.7	6.0	332,100	126,200	58,700	43,400	117,600	66,200
		2	4,565	22.0	15.0	7.5	6.0	299,200	120,400	56,700	43,200	100,400	60,600
		3	1,703	21.9	15.0	7.4	6.0	304,000	119,000	54,700	41,400	89,700	58,200
		4	345	20.4	15.0	8.2	6.0	279,500	115,900	56,600	44,800	89,600	64,400
	75～84歳	1	8,733	35.9	24.0	8.2	6.0	485,900	205,300	62,800	47,700	161,900	112,300
		2	2,946	33.3	22.0	8.3	6.0	407,900	179,300	63,400	48,300	136,600	97,600
		3	680	32.3	20.0	8.0	6.0	415,900	172,400	61,700	43,700	136,100	96,200
		4	95	33.8	20.0	7.5	5.0	294,800	193,000	52,700	43,900	99,700	52,200
	85歳以上	1	2,999	45.6	29.0	8.4	6.0	624,600	278,800	65,300	51,500	197,300	145,600
		2	498	43.4	29.0	9.4	7.0	540,400	252,000	71,800	51,300	169,500	124,300
		3	74	43.5	28.5	8.2	6.0	574,500	210,700	63,400	48,700	205,000	115,800
		4	10	33.5	23.0	10.4	7.5	577,900	144,900	86,900	50,000	92,900	36,200
女性	40～64歳	1	5,779	16.4	11.0	6.5	5.0	177,300	69,700	48,200	36,500	67,800	27,900
		2	729	13.3	9.0	6.1	4.0	181,800	59,300	46,100	33,100	51,900	23,100
		3	217	12.8	10.0	6.3	5.0	145,600	63,200	46,000	39,400	43,700	20,500
		4	68	13.1	11.0	5.7	3.0	85,800	70,700	39,200	33,100	143,000	27,700
	65～74歳	1	16,747	22.1	15.0	7.3	5.0	239,900	109,400	54,300	40,900	89,600	52,200
		2	969	21.3	14.0	7.4	5.0	232,400	97,100	55,700	40,000	72,600	43,900
		3	138	24.6	16.0	7.9	6.0	296,700	128,300	53,500	40,600	75,300	44,900
		4	27	24.3	15.0	7.8	6.0	240,900	100,800	56,100	49,300	79,900	65,000
	75～84歳	1	14,561	33.7	23.0	7.8	6.0	374,500	176,800	60,400	45,800	135,200	96,100
		2	363	31.9	20.0	9.2	7.0	325,900	151,100	68,400	50,200	111,900	86,500
		3	48	27.7	23.0	9.7	8.0	309,300	172,100	69,400	47,000	141,100	100,300
		4	9	31.1	26.5	5.7	6.0	547,600	153,500	54,400	49,300	120,300	87,300
	85歳以上	1	5,588	42.0	28.0	7.5	6.0	520,600	233,700	62,200	44,500	171,200	141,300
		2	44	25.3	20.5	8.8	6.0	251,500	166,300	59,500	47,100	141,400	106,700
		3	15	100.6	45.0	12.0	9.0	618,200	387,300	80,700	44,000	211,300	145,300
		4	0										

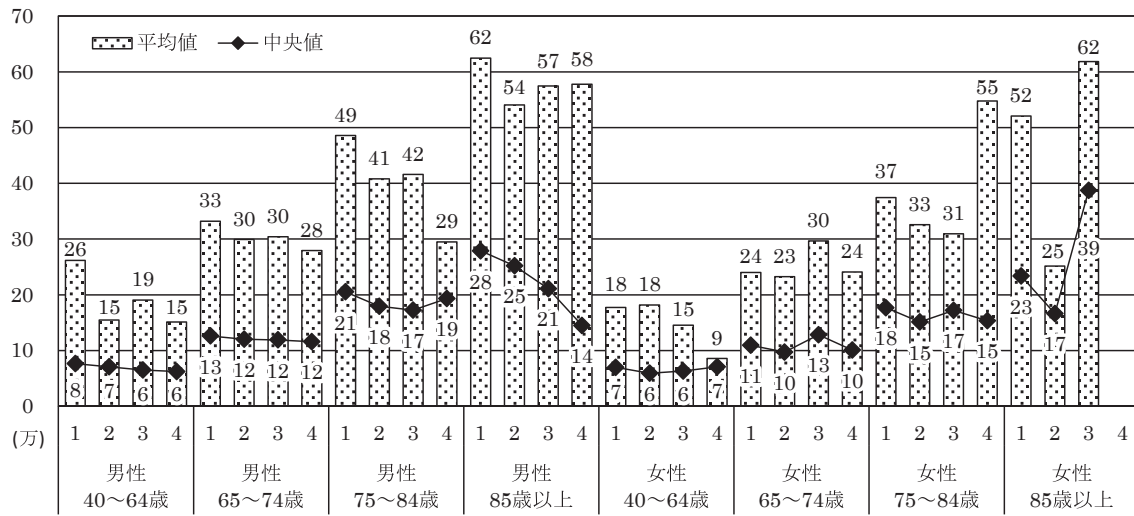
医科診療日数



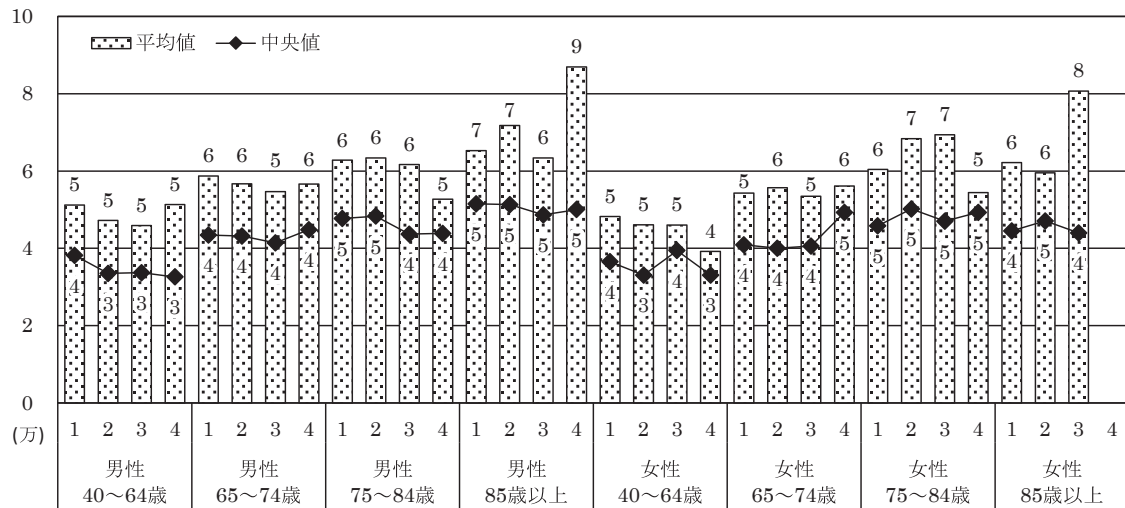
歯科診療日数



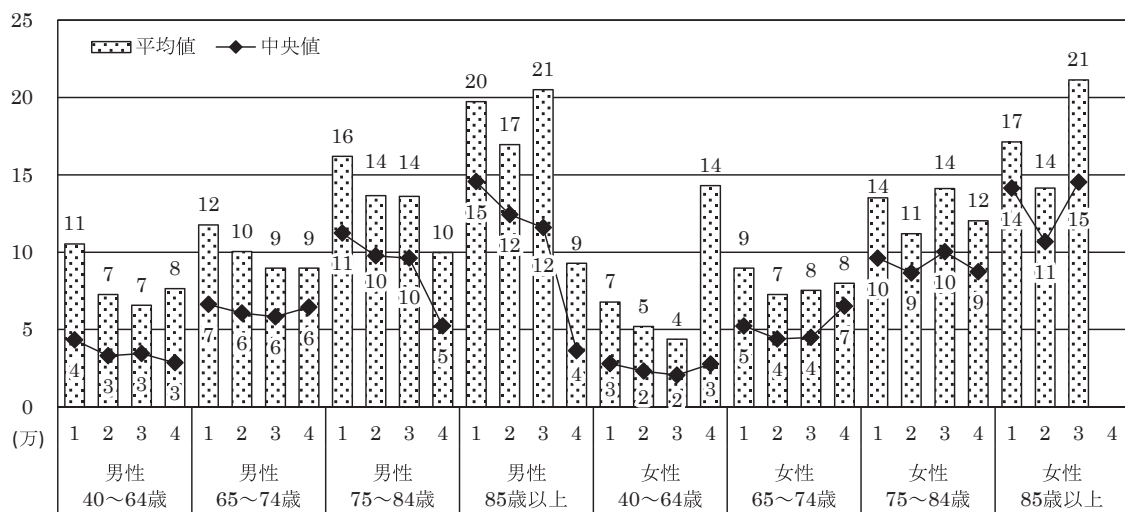
医科診療費



歯科診療費



調剤費



まとめ・考察

平成 31・令和元年度特定健診問診票の質問項目のうち、食事をかんで食べる時の状況、喫煙、食生活関連の回答状況と医科・歯科診療日数および医療費の関連について分析を行った。

(1) 食事をかんで食べる時の状況との関係について

咀嚼状況が悪化するほど、医科歯科診療日数と診療費、調剤費すべてで高い傾向にあった。食事を食べる際、何らかの症状がある場合、歯周病や歯の欠損が大きく関係していると思われる。すなわち、適切な歯周治療や補綴治療さらに定期検診を行うことで、医療費全体の軽減に繋がると考える。

(2) 喫煙との関係について

男性では、予想に反して医科診療日数と診療費ともに、非喫煙者の方が高い傾向にあった。また女性は、男性と異なり、喫煙による明らかな差は見られなかった。これは非喫煙者の方が、健康への関心が高いと思われ、受診率の上昇に伴い診療費も高くなっているのではないかと考えられる。

また、女性では歯科診療費については、喫煙者の方が高くなっていた。喫煙者の母数が極めて少なくデータの偏りを考慮しなければならないが、喫煙による歯周病のリスクがあることを示唆しているかもしれない。

(3) 食べる速度との関係について

男女とも食べる速度が遅いと医科歯科診療日数・診療費・調剤費が増えていた。また特に女性では、医科診療日数・診療費において、早いと回答した群でもふつうの回答群と比較し診療費が増加していた。

食べる速度が遅いということは、口腔機能低下(オーラルフレイル)が関係し、それに伴った全身への悪影響により医科診療費も増加していると思われる。また、食べる速度が早いと、肥満や糖尿病等の生活習慣病のリスクが上がり、診療費の増加を示しているのではないかと考える。すなわち、適切な速度で食べるために、口腔機能の改善と維持が必要である。

(4) 規則的な食生活習慣との関係について

今回の分析で、就寝の 2 時間前に夕食を食べることによる医科診療費・調剤費に明らかな違いはなかった。一方、歯科診療費については、「はい」と回答した群で、若干増加していた。これは、不規則な食生活習慣による口腔内状況の悪化が関係していると思われる。

「朝食を抜く回数の頻度の違い」に関しては、75 歳以上、すなわち後期高齢者では、朝食を抜く回数が多い人の方が、医科の診療日数と診療費が高い傾向にあり、若干の差が認められた。この理由として、食生活習慣が不規則になると健康を害して医療費が高くなるという可能性が考えられる。

しかしながら、「間食や甘い飲み物を摂取する頻度の違い」に関しては、女性ではほぼすべての年齢階級において、予想に反して間食や甘い飲み物を摂取する頻度が低い人の方が、医科診療日数と医科診療費が高い傾向にあるという結果になった。この理由は定かではない。

(5) 飲酒との関係について

「お酒を飲む頻度」に関しては、男女とも、お酒を飲む頻度が低いほど、医科診療日数が多く医科診療費および調剤費が高い傾向にあった。

一方、飲酒量に関しては、男性では飲酒量が多くなるほど医科診療費や調剤費が安くなる傾向があった。これは「喫煙の有無」に関する男性の結果とよく似ており、お酒やタバコを嗜む人ほど健康への関心が低い傾向にあることを示唆しているかもしれない。

Ⅲ 平成 31・令和元年度特定健診受診者の歯科質問項目「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」回答状況別医療費、及び他の歯科質問項目との関連

一 調査の概要

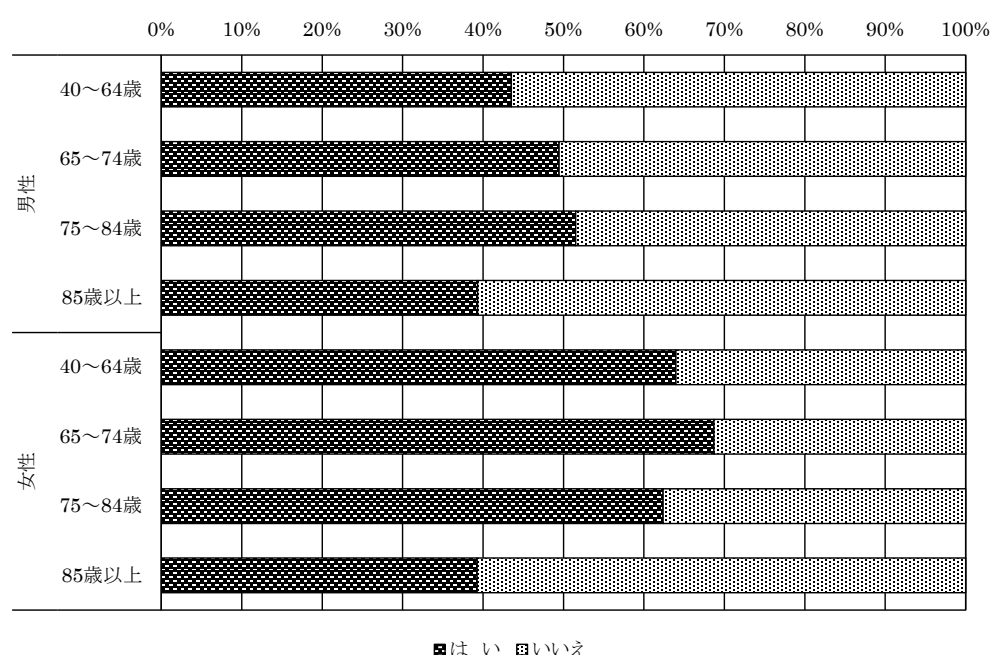
1 分析対象者および分析方法

平成 31・令和元年度特定健診受診者で香川県独自の歯科質問項目の「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」に回答した 101,529 人を分析対象者とした。診療日数・診療費・調剤費は KDB 医療レセプト管理および医療レセプト管理_歯科ファイルと突合して集計した。

他の香川県独自の歯科問診項目とのクロス集計では、無回答は除外して集計した。

分析対象者の性別年齢階級別人数ならびに「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」回答別人数・割合を下表図に示す。

性別	年齢階級	人 数			割合 (%)		
		総数	は い	いいえ	総数	は い	いいえ
男性	40～64歳	5,416	2,357	3,059	100.0%	43.5%	56.5%
	65～74歳	16,186	8,004	8,182	100.0%	49.5%	50.5%
	75～84歳	13,906	7,163	6,743	100.0%	51.5%	48.5%
	85歳以上	4,362	1,715	2,647	100.0%	39.3%	60.7%
女性	40～64歳	8,149	5,213	2,936	100.0%	64.0%	36.0%
	65～74歳	24,104	16,559	7,545	100.0%	68.7%	31.3%
	75～84歳	21,031	13,118	7,913	100.0%	62.4%	37.6%
	85歳以上	8,614	3,382	5,232	100.0%	39.3%	60.7%



二 調査・分析結果

(1) 性別年齢階級別「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」回答状況別、1年間当たりの診療日数、診療費、調剤費

医科診療日数は高齢になる程多かった。歯と歯の隙間もきれいにしているか否かでは性別、年齢に差はなかった。

歯科診療日数は高齢になる程多かった。歯と歯の隙間もきれいにしているか否かでは性別、年齢に差はなかったが、「はい」と回答している人の方が若干多かった。

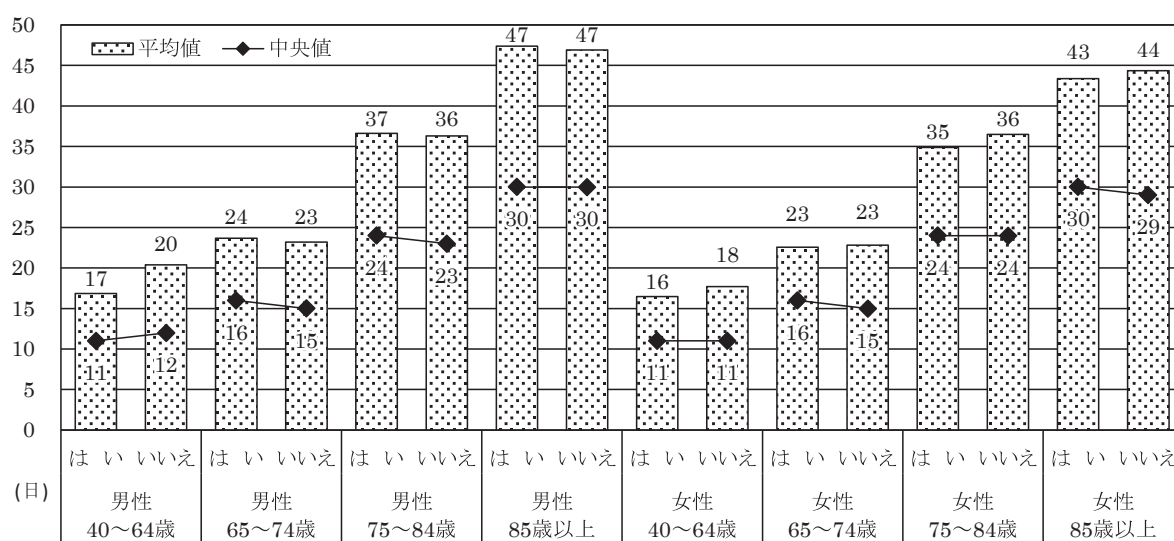
医科診療費は全年齢階級で男性の方が高く、高齢になる程高かった。歯と歯の隙間もきれいにしているか否かでは、「いいえ」と回答した人の方が高かった。

歯科診療費は性別に差はないが、高齢になる程高かった。歯と歯の隙間もきれいにしているか否かでは、「はい」と回答した人の方が高かった。

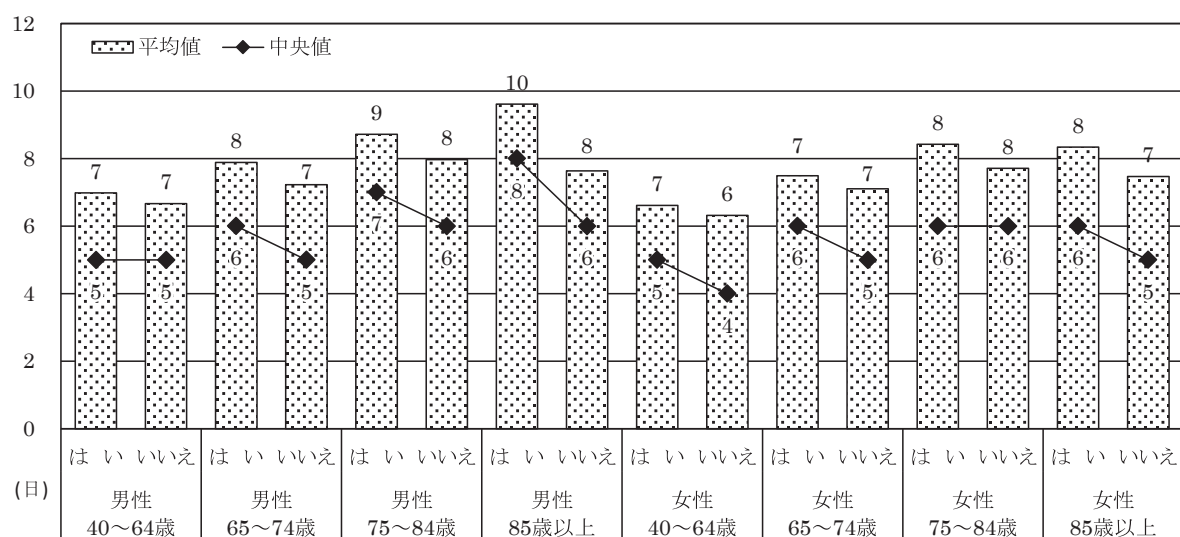
調剤費は性別に差はなく高齢になる程高かった。歯と歯の隙間もきれいにしているか否かでは、「いいえ」と回答した人の方が高かった。

性別	年齢階級	デンタルフロス等の使用	人数	医科診療日数		歯科診療日数		医科診療費		歯科診療費		調剤費	
				平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
男性	40～64歳	は い	2,357	16.9	11.0	7.0	5.0	204,300	72,300	52,600	39,500	80,300	39,900
		いいえ	3,059	20.4	12.0	6.7	5.0	246,400	76,200	50,600	33,900	104,300	42,600
	65～74歳	は い	8,004	23.7	16.0	7.9	6.0	330,400	126,200	59,700	45,000	108,600	63,200
		いいえ	8,182	23.2	15.0	7.2	5.0	329,100	123,100	55,900	40,600	112,600	66,800
	75～84歳	は い	7,163	36.6	24.0	8.7	7.0	472,400	207,300	66,700	51,000	150,700	107,600
		いいえ	6,743	36.3	23.0	8.0	6.0	490,600	198,400	61,700	45,100	164,200	116,600
	85歳以上	は い	1,715	47.4	30.0	9.6	8.0	593,400	277,200	73,100	56,600	187,600	143,700
		いいえ	2,647	46.9	30.0	7.6	6.0	659,100	286,000	61,800	46,200	198,300	152,100
女性	40～64歳	は い	5,213	16.5	11.0	6.6	5.0	162,600	68,100	49,000	37,100	65,900	27,100
		いいえ	2,936	17.7	11.0	6.3	4.0	202,400	73,400	48,100	34,900	72,400	30,000
	65～74歳	は い	16,559	22.6	16.0	7.5	6.0	239,500	110,100	56,100	42,900	86,300	51,600
		いいえ	7,545	22.8	15.0	7.1	5.0	256,000	112,000	53,700	37,600	94,700	54,300
	75～84歳	は い	13,118	34.9	24.0	8.4	6.0	368,400	182,000	64,400	48,600	133,200	95,600
		いいえ	7,913	36.5	24.0	7.7	6.0	415,400	188,200	60,600	44,800	147,700	107,100
	85歳以上	は い	3,382	43.4	30.0	8.3	6.0	490,200	238,500	67,900	48,200	163,100	133,600
		いいえ	5,232	44.3	29.0	7.5	5.0	549,600	244,300	62,200	41,400	181,700	152,200

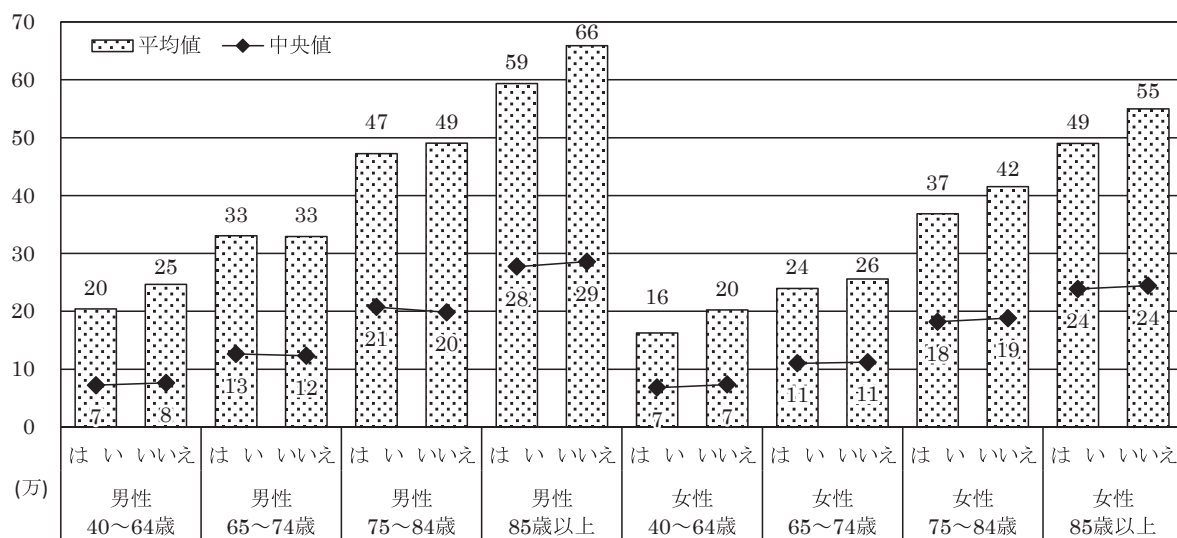
医科診療日数



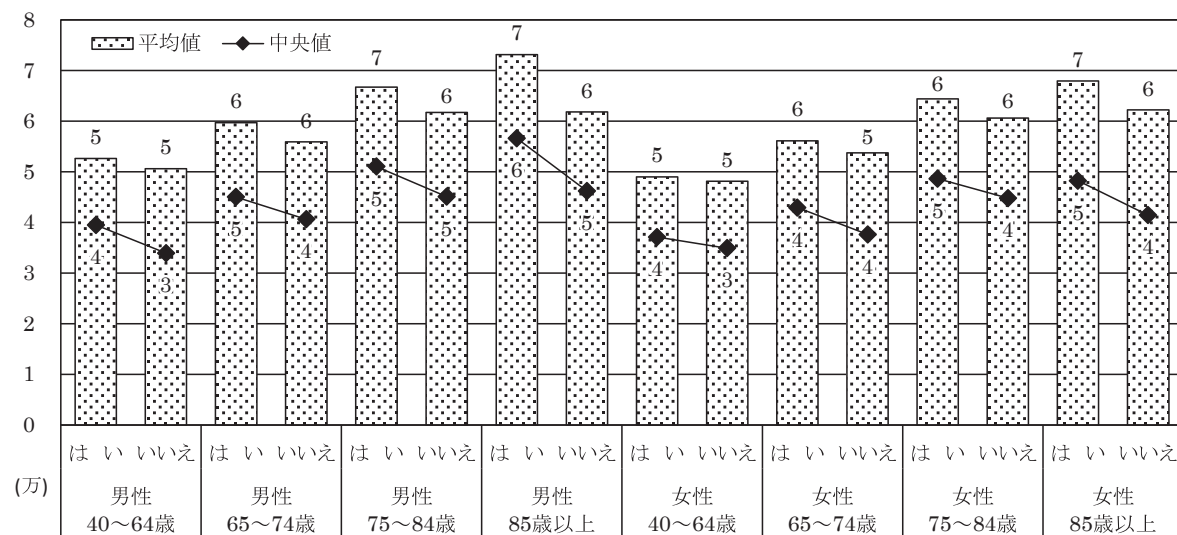
歯科診療日数



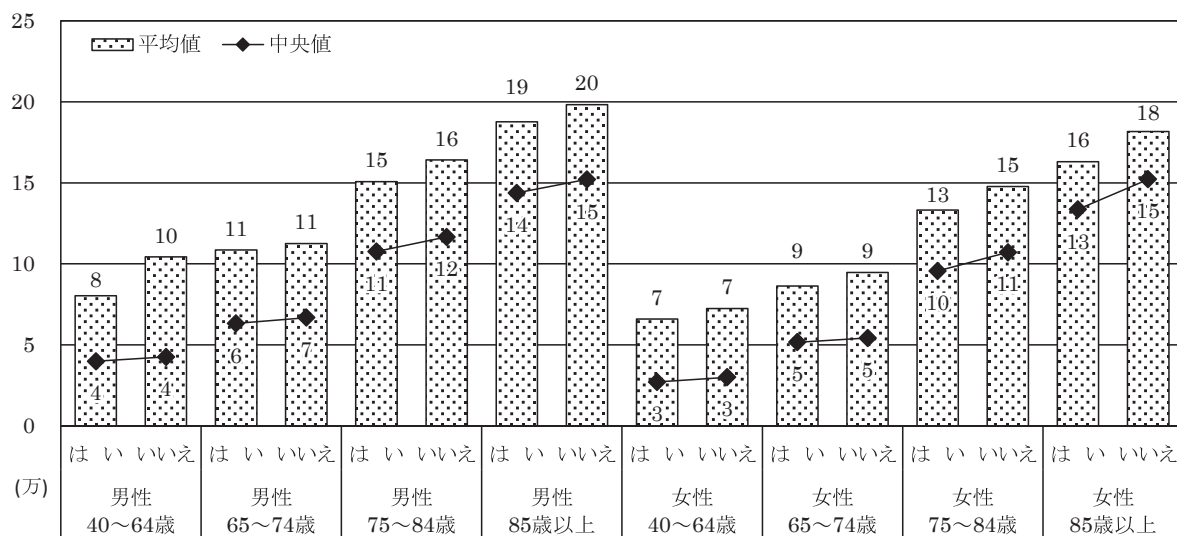
医科診療費



歯科診療費



調剤費

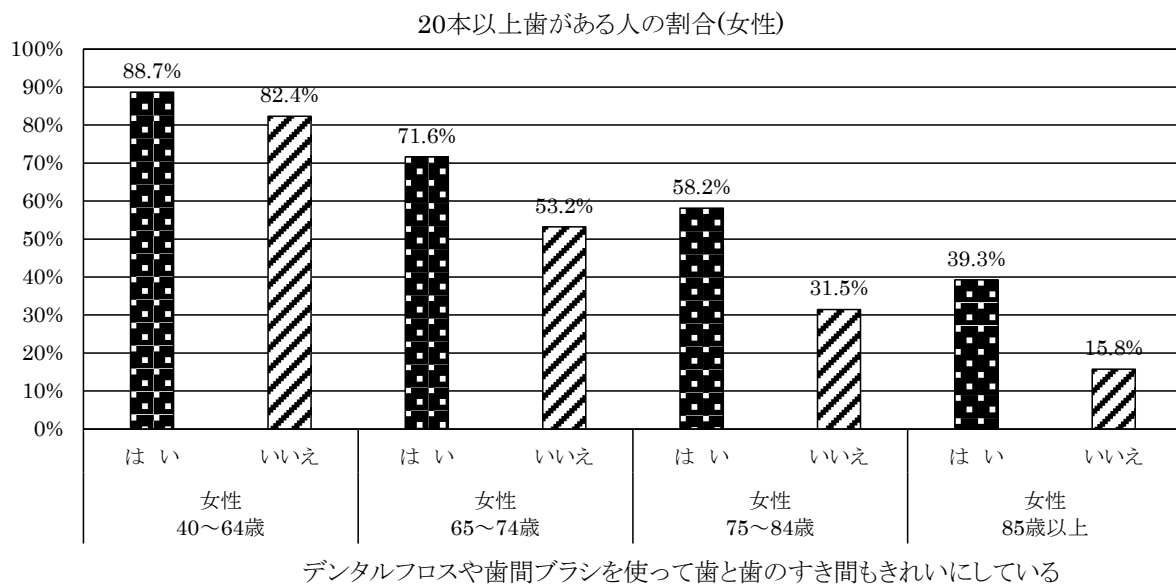
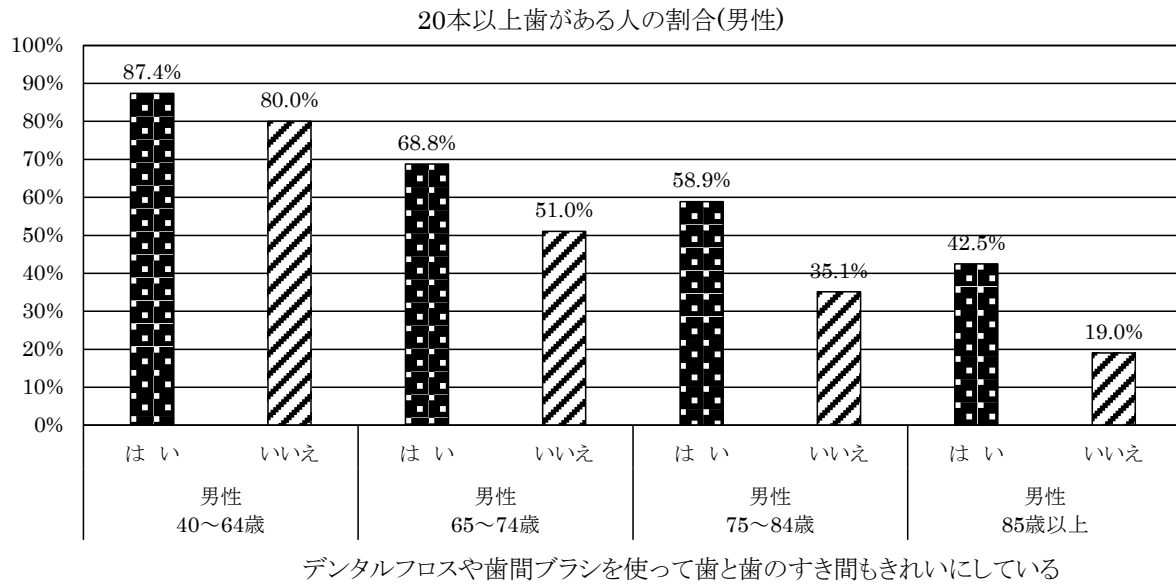


(2) 性別年齢階級別「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」回答状況別、「あなたの歯は20本以上ありますか」回答状況

男女とも歯が20本以上ある人の割合は、高齢になる程減少していくが、デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯の隙間もきれいにしているか否かでは、「はい」と回答した人の方が全年齢階級で高かった。

また高齢になる程「はい」と回答した人と「いいえ」と回答した人の差が大きくなっていた。

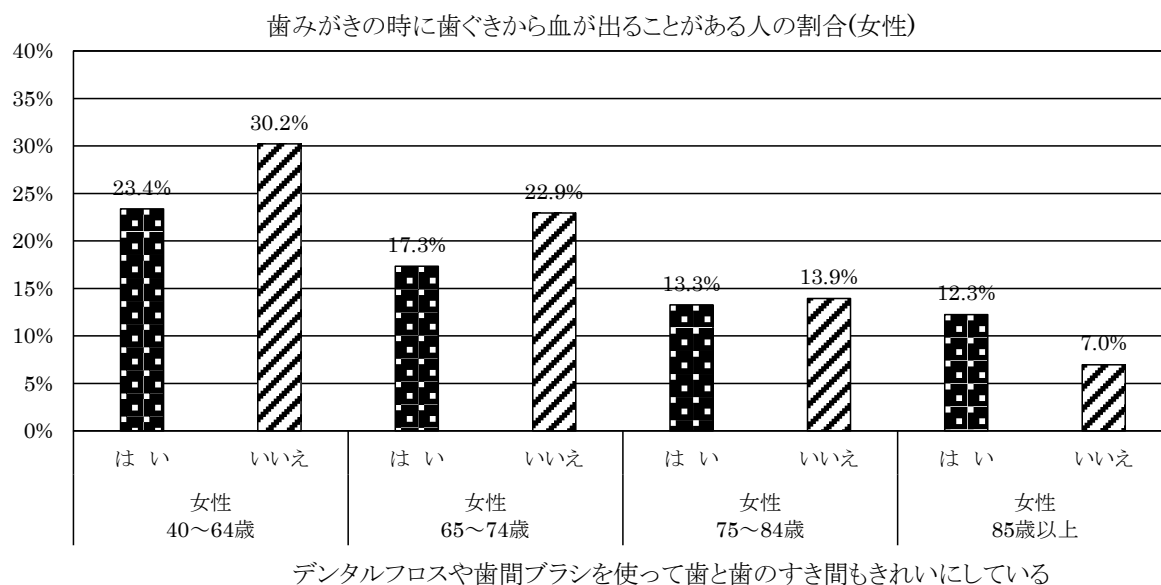
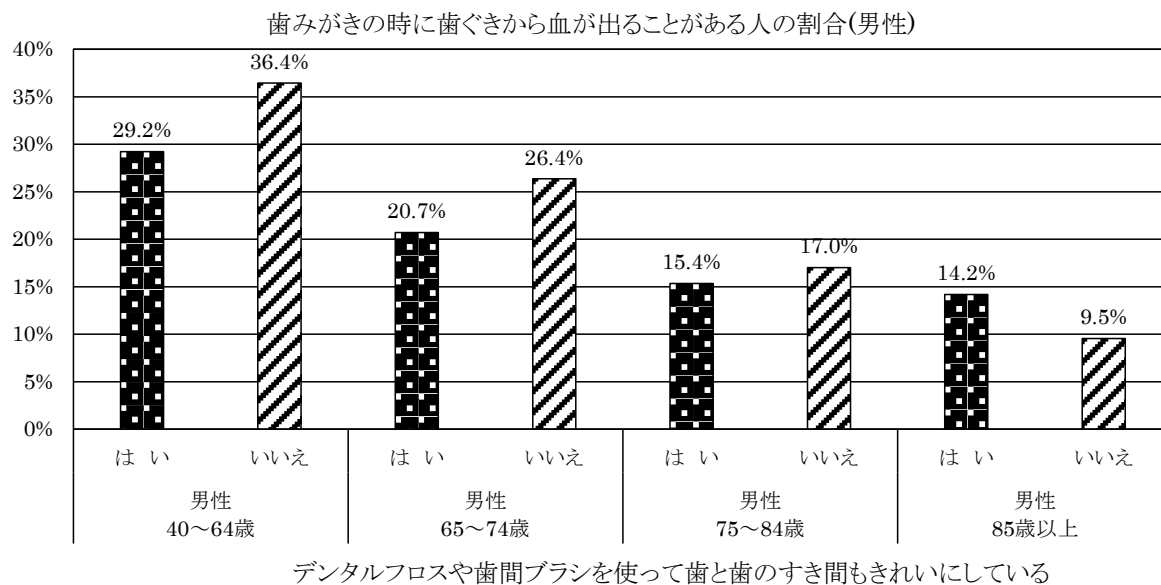
性別	年齢階級	デンタルフロスや歯間ブラシを使う	あなたの歯の本数は20本以上ありますか				
			人数			割合(%)	
			総数	はい	いいえ	はい	いいえ
男性	40～64歳	はい	2,209	1,930	279	87.4%	12.6%
		いいえ	2,758	2,207	551	80.0%	20.0%
	65～74歳	はい	7,510	5,164	2,346	68.8%	31.2%
		いいえ	7,594	3,875	3,719	51.0%	49.0%
	75～84歳	はい	6,734	3,966	2,768	58.9%	41.1%
		いいえ	6,306	2,214	4,092	35.1%	64.9%
	85歳以上	はい	1,597	679	918	42.5%	57.5%
		いいえ	2,493	474	2,019	19.0%	81.0%
女性	40～64歳	はい	4,987	4,421	566	88.7%	11.3%
		いいえ	2,714	2,235	479	82.4%	17.6%
	65～74歳	はい	15,700	11,244	4,456	71.6%	28.4%
		いいえ	6,988	3,719	3,269	53.2%	46.8%
	75～84歳	はい	12,321	7,166	5,155	58.2%	41.8%
		いいえ	7,348	2,312	5,036	31.5%	68.5%
	85歳以上	はい	3,164	1,242	1,922	39.3%	60.7%
		いいえ	4,862	767	4,095	15.8%	84.2%



(3) 性別年齢階級別「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」回答状況別、「歯みがきの時に歯ぐきから血が出ることもある」回答状況

歯みがきの時に歯ぐきから血が出ることもある人の割合は、男女とも 40～84 歳の年齢階級でデンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている人の方が、していない人よりも高かった。一方、85 歳以上の年齢階級では逆の傾向だった。

性別	年齢階級	デンタルフロスや歯間ブラシを使う	歯みがきの時に歯ぐきから血が出ることもある				
			人数			割合 (%)	
			総数	はい	いいえ	はい	いいえ
男性	40～64歳	はい	2,351	687	1,664	29.2%	70.8%
		いいえ	3,059	1,115	1,944	36.4%	63.6%
	65～74歳	はい	7,988	1,654	6,334	20.7%	79.3%
		いいえ	8,176	2,156	6,020	26.4%	73.6%
	75～84歳	はい	7,151	1,098	6,053	15.4%	84.6%
		いいえ	6,740	1,147	5,593	17.0%	83.0%
	85歳以上	はい	1,712	243	1,469	14.2%	85.8%
		いいえ	2,640	252	2,388	9.5%	90.5%
女性	40～64歳	はい	5,208	1,217	3,991	23.4%	76.6%
		いいえ	2,934	887	2,047	30.2%	69.8%
	65～74歳	はい	16,535	2,868	13,667	17.3%	82.7%
		いいえ	7,539	1,730	5,809	22.9%	77.1%
	75～84歳	はい	13,098	1,737	11,361	13.3%	86.7%
		いいえ	7,907	1,102	6,805	13.9%	86.1%
	85歳以上	はい	3,379	414	2,965	12.3%	87.7%
		いいえ	5,225	364	4,861	7.0%	93.0%



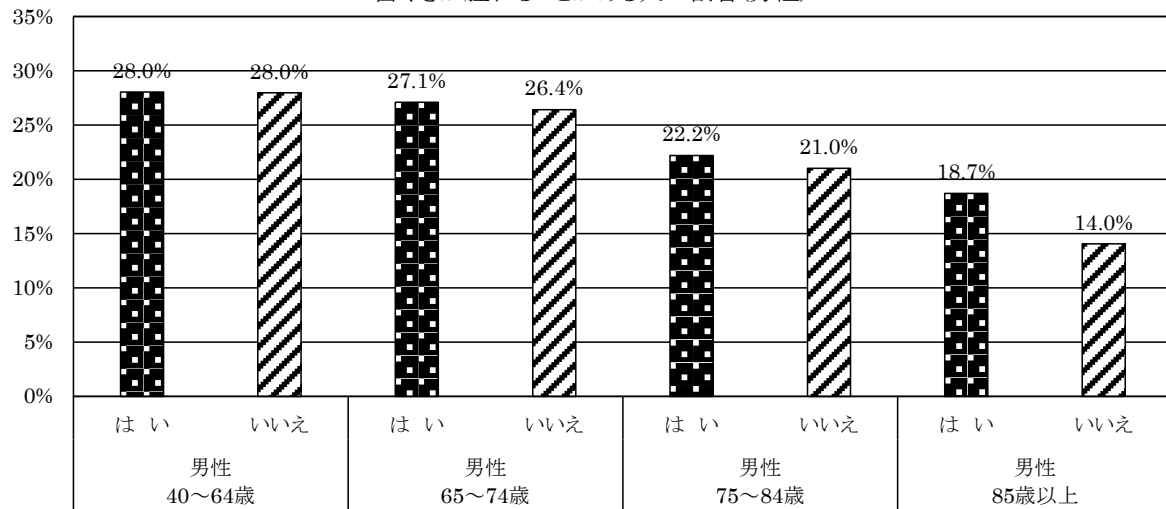
(4) 性別年齢階級別「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」回答状況別、「歯ぐきが腫れることがある」回答状況

歯ぐきが腫れることがある人の割合は、男女とも40～84歳の年齢階級ではデンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯の隙間もきれいにしているか否かで大きな差がみられなかった。

85歳以上の年齢階級では、デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯の隙間もきれいにしている人の方が、していない人よりも歯ぐきが腫れることがある人の割合が高かった。

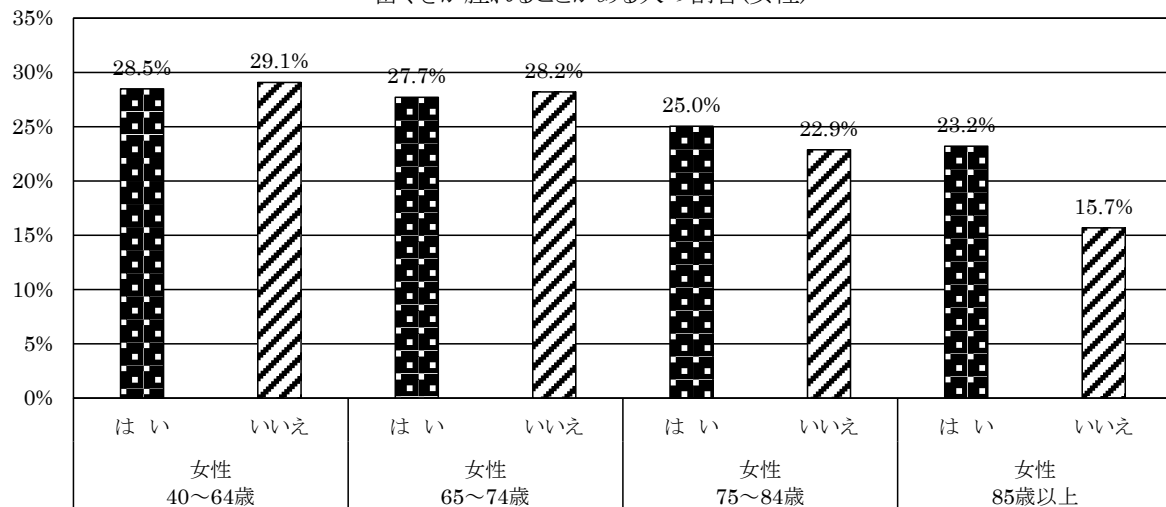
性別	年齢階級	デンタルフロスや歯間ブラシを使う	歯ぐきが腫れることがある				
			人数			割合(%)	
			総数	はい	いいえ	はい	いいえ
男性	40～64歳	はい	2,354	660	1,694	28.0%	72.0%
		いいえ	3,058	855	2,203	28.0%	72.0%
	65～74歳	はい	7,992	2,165	5,827	27.1%	72.9%
		いいえ	8,177	2,160	6,017	26.4%	73.6%
	75～84歳	はい	7,146	1,585	5,561	22.2%	77.8%
		いいえ	6,735	1,414	5,321	21.0%	79.0%
	85歳以上	はい	1,712	320	1,392	18.7%	81.3%
		いいえ	2,642	371	2,271	14.0%	86.0%
女性	40～64歳	はい	5,206	1,483	3,723	28.5%	71.5%
		いいえ	2,935	853	2,082	29.1%	70.9%
	65～74歳	はい	16,532	4,581	11,951	27.7%	72.3%
		いいえ	7,536	2,125	5,411	28.2%	71.8%
	75～84歳	はい	13,092	3,277	9,815	25.0%	75.0%
		いいえ	7,897	1,806	6,091	22.9%	77.1%
	85歳以上	はい	3,375	783	2,592	23.2%	76.8%
		いいえ	5,226	819	4,407	15.7%	84.3%

歯ぐきが腫れることがある人の割合(男性)



デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいになっている

歯ぐきが腫れることがある人の割合(女性)

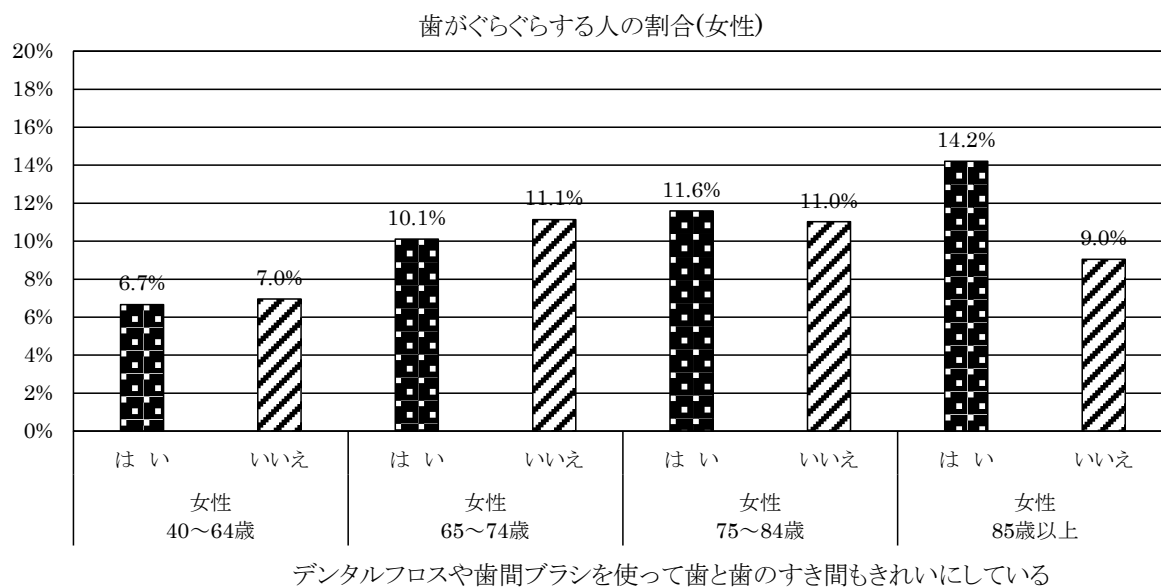
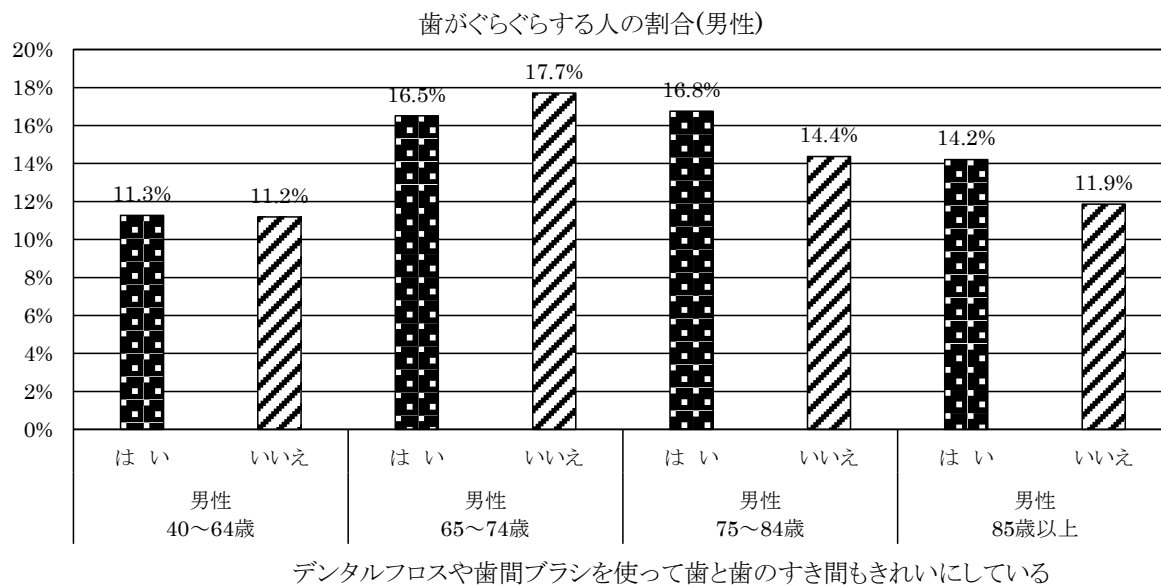


デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいになっている

(5) 性別年齢階級別「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」回答状況別、「歯がぐらぐらする」回答状況

歯がぐらぐらする人の割合は、男女とも 40～74 歳の年齢階級で、デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯の隙間もきれいにしていない人の方が、している人よりも若干高かった。一方 75 歳以上の年齢階級では、逆の傾向だった。

性別	年齢階級	デンタルフロスや歯間ブラシを使う	歯がぐらぐらする				
			人数			割合 (%)	
			総数	はい	いいえ	はい	いいえ
男性	40～64歳	はい	2,351	265	2,086	11.3%	88.7%
		いいえ	3,058	342	2,716	11.2%	88.8%
	65～74歳	はい	7,985	1,318	6,667	16.5%	83.5%
		いいえ	8,173	1,448	6,725	17.7%	82.3%
	75～84歳	はい	7,143	1,197	5,946	16.8%	83.2%
		いいえ	6,729	967	5,762	14.4%	85.6%
	85歳以上	はい	1,704	242	1,462	14.2%	85.8%
		いいえ	2,639	313	2,326	11.9%	88.1%
女性	40～64歳	はい	5,208	347	4,861	6.7%	93.3%
		いいえ	2,934	204	2,730	7.0%	93.0%
	65～74歳	はい	16,527	1,670	14,857	10.1%	89.9%
		いいえ	7,537	839	6,698	11.1%	88.9%
	75～84歳	はい	13,058	1,513	11,545	11.6%	88.4%
		いいえ	7,894	870	7,024	11.0%	89.0%
	85歳以上	はい	3,370	479	2,891	14.2%	85.8%
		いいえ	5,219	472	4,747	9.0%	91.0%



まとめ・考察

平成 31・令和元年度特定健診受診者の歯科質問項目「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」回答状況別医療費、及び他の歯科質問項目との関連について分析を行った。

(1) デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯の隙間もきれいにしている人の割合

歯科質問項目の回答状況から、男性では 40～84 歳の年齢階級で約半数、女性では 40～84 歳の年齢階級で6割以上の方が、歯間清掃器具を使用しており、歯間清掃習慣の浸透が伺える。女性の方が男性よりも使用割合が高く、女性の 65～74 歳の年齢階級では7割近くに達していた。女性は男性よりも歯の健康やケアは重要と考える人が多いことが考えられる。

(2) 歯間清掃器具の使用と診療日数、医療費について

医科診療日数は、歯間清掃器具の使用の有無で差はなかったが、医科診療費と調剤費は、男女ともほぼ全年齢階級で、歯間清掃器具を使用していない人の方が高い傾向がみられた。特に、後期高齢者で差が顕著になることから、歯間清掃習慣は、健康寿命の延伸に關与する生活習慣かもしれない。

一方歯科については、男女とも全年齢階級で、歯間清掃器具を使用している人の方が歯科診療日数が多く、歯科診療費が高い傾向を示した。歯間清掃器具を使用している人は虫歯予防や歯周病予防に対する意識高い人が多いため、定期歯科検診やメンテナンスでの受診が診療日数や診療費を増やしている要因と考えられる。

(3) 歯間清掃器具の使用と歯が 20 本以上ある人の割合について

歯が 20 本以上ある人の割合は、男女とも全年齢階級で歯間清掃器具を使用している人の方が使用していない人より高かった。また、高齢になる程 20 本以上ある人の割合は減少していくが、歯間清掃器具を使用している人よりも使用していない人の方が、減少傾向が顕著なことから、残存歯維持に歯間清掃習慣は有効であることが確認できた。

(4) 歯間清掃器具の使用と歯周病関連質問項目(歯磨き時の歯肉出血、歯肉腫脹、歯の動揺)回答状況について

歯間清掃器具を使用している人は、40～84 歳の年齢階級では男女とも歯磨き時歯肉出血のある割合は低かったが、85 歳以上では逆に高くなった。歯ぐきが腫れることがある人の割合は、男女とも 40～84 歳の年齢階級では歯間清掃器具使用の有無で差は見られなかった。85 歳以上では、歯間清掃器具を使用している人の方が高かった。歯がぐらぐらする人の割合は、男女とも 74 歳以下の年齢階級で歯間清掃器具を使用している人の方が若干高い傾向はあるものの、明確な差は認めなかった。75 歳以上では逆に高かった。

歯間清掃器具を使用することは、歯周病を予防し健康な歯を残すための有効な方法であり、本研究でも、20 本以上歯が残っている人の割合や、ブラッシング時歯肉出血を自覚している人の割合では、これを裏付けることができた。一方で、動揺や歯肉腫脹を自覚している人の割合でその差は見いだせなかった。むしろ高齢者では、逆の傾向を認めた。おそらく、高齢者では現在歯が少なくなるため、歯牙喪失により歯周病症状の訴えそのものがなくなることが一因かもしれない。

令和3年度香川県8020運動推進特別事業
(香川県歯科医師会委託事業)

令和3年度
香川県
歯の健康と医療費に関する実態調査報告書

令和4年3月発行

公益社団法人 香川県歯科医師会
会長 豊嶋 健治

〒760-0020 香川県高松市錦町2丁目8番38号
TEL：087-851-4965 FAX：087-822-4948
Eメール：jimu@kashi.or.jp HP：http://www.kashi.or.jp

